

疾病，傷害および死因統計分類提要 第2巻 内容例示表の新旧対照表

注：追加，変更等は，下線により，また削除は取り消線によって示している。

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
第 I 章 感染症および寄生虫症		
7	第 I 章 感染症および寄生虫症	第 I 章 感染症および寄生虫症 <u>細菌性病原体が耐性を持った抗生物質を分類する必要がある場合には追加コード(U80.-U89.-)を使用する。</u>
8	A02.2 <u>キ</u> 局所的サルモネラ感染症 サルモネラ： ・髄膜炎（G01*） ・肺炎（J17.0*） ・関節炎（M01.3*） ・骨髄炎（M90.2*） ・腎尿細管間質性疾患（N16.0*）	A02.2 局所的サルモネラ感染症 サルモネラ： ・髄膜炎 <u>†</u> （G01*） ・肺炎 <u>†</u> （J17.0*） ・関節炎 <u>†</u> （M01.3*） ・骨髄炎 <u>†</u> （M90.2*） ・腎尿細管間質性疾患 <u>†</u> （N16.0*）
9	A04 その他の細菌性腸管感染症	A04 その他の細菌性腸管感染症

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	除外：細菌性（A05.）食中毒	除外：食中毒，他に分類されるもの
9	A04.7 クロストリジウムディフィシルによる全腸炎	A04.7 クロストリジウム・ディフィシルによる全腸炎 クロストリジウム・ディフィシルによる食中毒 偽膜性大腸炎
10	A05 その他の細菌性食中毒	A05 その他の細菌性食中毒，他に分類されないもの
16	A18.1 † 尿路生殖器系の結核 結核： ・腎（N29.1*） ・尿管（N29.1*） ・膀胱（N33.0*） ・男性性器（N51.-*） ・子宮頸（部）（N74.0*） 結核性女性骨盤炎症性疾患（N74.1*）	A18.1 腎尿路生殖器系の結核 結核： ・腎 †（N29.1*） ・尿管 †（N29.1*） ・膀胱 †（N33.0*） ・男性生殖器 †（N51.-*） ・子宮頸（部） †（N74.0*） 結核性女性骨盤炎症性疾患 †（N74.1*）
17	A18.5 † 眼の結核 結核性： ・上強膜炎（H19.0*） ・間質性角膜炎（H19.2*）	A18.5 眼の結核 結核性： ・上強膜炎 †（H19.0*） ・間質性角膜炎 †（H19.2*）

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	<ul style="list-style-type: none"> ・角結膜炎（間質性）（フリクテン性）（H19.2*） ・<u>虹彩</u>毛様体炎（22.0*） ・脈絡網膜炎（H32.0*） 	<ul style="list-style-type: none"> ・角結膜炎（間質性）（フリクテン性）<u>†</u>（H19.2*） ・<u>虹彩</u>毛様体炎<u>†</u>（H22.0*） ・脈絡網膜炎<u>†</u>（H32.0*）
17	A18.6 † 耳の結核 結核性中耳炎（H67.0*）	A18.6 耳の結核 結核性中耳炎 <u>†</u> （H67.0*）
17	A18.8 † その他の明示された臓器の結核 結核： <ul style="list-style-type: none"> ・甲状腺（E35.0*） ・心膜（I32.0*） ・心内膜（I39.8*） ・心筋（I41.0*） ・食道（K23.0*） 結核性脳動脈炎（I68.1*）	A18.8 その他の明示された臓器の結核 結核： <ul style="list-style-type: none"> ・甲状腺<u>†</u>（E35.0*） ・心膜<u>†</u>（I32.0*） ・心内膜<u>†</u>（I39.8*） ・心筋<u>†</u>（I41.0*） ・食道<u>†</u>（K23.0*） 結核性脳動脈炎 <u>†</u> （I68.1*）
22	A31 その他のマイコバクテリアによる感染症	A31 その他の非結核性抗酸菌による感染症
22	A31.0 肺マイコバクテリア感染症	A31.0 肺非結核性抗酸菌感染症
22	A31.1 皮膚マイコバクテリア感染症	A31.1 皮膚非結核性抗酸菌感染症
22	A31.8 その他のマイコバクテリア感染症	A31.8 その他の非結核性抗酸菌感染症

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
22	A31.9 マイコバクテリア感染症, 詳細不明	A31.9 非結核性抗酸菌感染症, 詳細不明
	<p>非定型マイコバクテリア感染症 NOS</p> <p>*非定型抗酸菌感染症 NOS</p> <p>マイコバクテリア感染症</p>	<p>非定型非結核性抗酸菌感染症 NOS</p> <p>削除</p> <p>非結核性抗酸菌感染症 NOS</p>
29	A50.0 早期先天梅毒, 顕性	A50.0 早期先天梅毒, 顕症
30	A50.4 晩期先天神経梅毒 [若年 (性) 神経梅毒]	A50.4 晩期先天神経梅毒 [若年 (性) 神経梅毒]
	<p>若年 (性) 麻痺性痴呆</p>	<p>若年 (性) 麻痺性認知症</p>
30	A50.5 その他の晩期先天梅毒, 顕性	A50.5 その他の晩期先天梅毒, 顕症
32	A52.1 顕性神経梅毒	A52.1 症候性神経梅毒
32	A52.7 その他の顕性晩期梅毒	A52.7 その他の症候性晩期梅毒
33	<p>A54.2 淋菌性骨盤腹膜炎およびその他の淋菌性尿路性器感染症</p> <p>淋菌性：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前立腺炎 (N51.0*) ・精巣上体<副睾丸>炎 (N51.1*) ・精巣<睾丸>炎 (N51.1*) ・女性骨盤炎症性疾患 (N74.3*) 	<p>A54.2 淋菌性骨盤腹膜炎およびその他の淋菌性腎尿路生殖器感染症</p> <p>淋菌性：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前立腺炎 † (N51.0*) ・精巣上体<副睾丸>炎 † (N51.1*) ・精巣<睾丸>炎 † (N51.1*) ・女性骨盤炎症性疾患 † (N74.3*)
35	A56.1 骨盤腹膜およびその他の尿路性器のクラミジア感染症	A56.1 骨盤腹膜およびその他の腎尿路生殖器のクラミジア感染症

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	クラミジア（性）： ・精巣上体＜副睪丸＞炎（N51.1*） ・精巣＜睪丸＞炎（N51.1*） ・女性骨盤炎症性疾患（N74.4*）	クラミジア（性）： ・精巣上体＜副睪丸＞炎 [†] （N51.1*） ・精巣＜睪丸＞炎 [†] （N51.1*） ・女性骨盤炎症性疾患 [†] （N74.4*）
35	A59.0 尿路性器トリコモナス症	A59.0 泌尿生殖器トリコモナス症
35	A60.0 性器および尿路性器のヘルペスウイルス感染症	A60.0 性器および尿路のヘルペスウイルス感染症
38	A69.0 え＜壊＞痘性潰瘍性口内炎 紡錘菌スピロヘータ（性）え＜壊＞痘 ノーマ＜水癌＞ え＜壊＞痘性口内炎	A69.0 え＜壊＞死性潰瘍性口内炎 <u>Cancrum oris</u> 紡錘菌スピロヘータ（性）え＜壊＞死 ノーマ＜水癌＞ え＜壊＞死性口内炎
42	A81 中枢神経系の <u>スロー</u> ウイルス感染症	A81 中枢神経系の非定型ウイルス感染症 <u>包含：中枢神経系のプリオン病</u>
42	A81.8 中枢神経系のその他のスローウイルス感染症	A81.8 中枢神経系のその他の非定型ウイルス感染症
42	A81.9 中枢神経系のスローウイルス感染症，詳細不明 スローウイルス感染症—NOS	A81.9 中枢神経系の非定型ウイルス感染症，詳細不明 <u>中枢神経系のプリオン病 NOS</u> 削除

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
47	A98.5 腎症候性出血熱<HFRS>	A98.5 腎症候性出血熱<HFRS> <u>腎症候性ハンタ<Hanta>ウイルス病</u> 除外： <u>ハンタ<Hanta>ウイルス（心）肺症候群(B33.4† J17.1*)</u>
48	B00.5 ㊦ ヘルペスウイルス（性）眼疾患 ヘルペスウイルス（性）： ・眼瞼皮膚炎（H03.1*） ・結膜炎（H13.1*） ・角膜炎（H19.1*） ・角結膜炎（H19.1*） ・虹彩毛様体炎（H22.0*） ・虹彩炎（H22.0*） ・前部ぶどう膜炎（H22.0*）	B00.5 ヘルペスウイルス（性）眼疾患 ヘルペスウイルス（性）： ・眼瞼皮膚炎 _† （H03.1*） ・結膜炎 _† （H13.1*） ・角膜炎 _† （H19.1*） ・角結膜炎 _† （H19.1*） ・虹彩毛様体炎 _† （H22.0*） ・虹彩炎 _† （H22.0*） ・前部ぶどう膜炎 _† （H22.0*）
49	B02.3 ㊦ 帯状疱疹（性）眼疾患 帯状疱疹（性）： ・眼瞼炎（H03.1*） ・結膜炎（H13.1*） ・強膜炎（H19.0*）	B02.3 帯状疱疹（性）眼疾患 帯状疱疹（性）： ・眼瞼炎 _† （H03.1*） ・結膜炎 _† （H13.1*） ・強膜炎 _† （H19.0*）

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	<ul style="list-style-type: none"> ・角膜炎 (H19. 2*) ・角結膜炎 (H19. 2*) ・虹彩炎 (H22. 0*) ・虹彩毛様体炎 (H22. 0*) 	<ul style="list-style-type: none"> ・角膜炎_† (H19. 2*) ・角結膜炎_† (H19. 2*) ・虹彩炎_† (H22. 0*) ・虹彩毛様体炎_† (H22. 0*)
52	B08. 4 発疹を伴うエンテロウイルス性水疱性口内炎	B08. 4 発疹を伴うエンテロウイルス性小水疱性口内炎
53	ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病(B20-B24) <small>注：B20-B23の4桁細分類項目は、特定の病態を分類するための複合コーディングが不可能または不必要な場合に、必要に応じて選択できるように設けられたものである。</small>	ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病(B20-B24) 削除
53	B20. 0 <u>マイコバクテリア感染症を起こしたHIV病</u>	B20. 0 <u>非結核性抗酸菌感染症を起こしたHIV病</u>
54	B21. 7 <u>多発悪性新生物を起こしたHIV病</u>	B21. 7 <u>多発性の悪性新生物を起こしたHIV病</u>
54	B22. 0 <u>脳症を起こしたHIV病</u> HIV痴呆	B22. 0 <u>脳症を起こしたHIV病</u> HIV認知症
57		B33. 4_† <u>ハンタ<Hanta>ウイルス（心）肺症候群[HPS][HCPS](J17. 1*)</u> <u>シンノンブレ<Sin Nombre>ウイルス疾患</u> <u>肺症状を伴うハンタ（Hanta）ウイルス疾患</u> <u>アンデス<Andes>、ベイヨ<Bayou>およびブラック・クリーク・キャナル<Black Creek Canal>ハンタウイルスに起因するハンタウイルス（心）肺症候群に伴う腎不全を分類する場合は、追加コード（N17. 9）を使用する。</u>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
		<u>除外：腎症候性出血熱<HFRS> (A98.5† N08.0*)</u>
60	B37.4† その他の尿路性器のカンジダ症 カンジダ性： ・尿道炎 (N37.0*) ・龟头炎 (N51.2*)	B37.4 その他の部位の尿路性器のカンジダ症 カンジダ性： ・尿道炎 [†] (N37.0*) ・龟头炎 [†] (N51.2*)
67	B57.2† シャガス<Chagas>病（慢性），心障害を伴うもの —(I41.2*, I98.1*)— シャガス病（慢性）（下記を伴うもの）： ・NOS ・心筋炎 (I41.2*) ・心血管障害 NEC (I98.1*)	B57.2 シャガス<Chagas>病（慢性），心障害を伴うもの シャガス病（慢性）（下記を伴うもの）： ・NOS ・心筋炎 [†] (I41.2*) ・心血管障害 NEC [†] (I98.1*)
67	B59 ニューモシスチス症	B59[†] ニューモシスチス症 (J17.3*)
67	B60 その他の原虫疾患，他に分類されないもの	B60 その他の原虫疾患，他に分類されないもの <u>除外：腸微孢子虫症 (A07.8)</u>
77	B90.1 尿路性器結核の続発・後遺症	B90.1 腎尿路生殖器結核の続発・後遺症
78	B96.8 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された細菌性病原体	B96.8 他章に分類される疾患の原因であるその他の明示された細菌性病原体 <u>*ヘリコバクター・ピロリ<Helicobacter pylori></u>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
第Ⅱ章 新生物		
81	<p>本章は新生物の下記の中間分類項目から構成されている：</p> <p>C51-C58 女性性器</p> <p>C60-C63 男性性器</p>	<p>本章は新生物の下記の中間分類項目から構成されている：</p> <p>C51-C58 女性生殖器</p> <p>C60-C63 男性生殖器</p>
83	<p>C57.8 女性性器の境界部病巣</p> <p>C63.8 男性性器の境界部病巣</p>	<p>C57.8 女性生殖器の境界部病巣</p> <p>C63.8 男性生殖器の境界部病巣</p>
	<p>C68.8 泌尿器の境界部病巣</p>	<p>C68.8 腎尿路の境界部病巣</p>
84	<p>C00.0 外（側）上唇</p>	<p>C00.0 外側上唇</p>
84	<p>C00.1 外（側）下唇</p>	<p>C00.1 外側下唇</p>
84	<p>C00.2 外（側）口唇，部位不明</p>	<p>C00.2 外側口唇，部位不明</p>
85	<p>C02 その他および部位不明の舌の悪性新生物</p>	<p>C02 舌のその他および部位不明の悪性新生物</p>
86	<p>C04 口腔底の悪性新生物</p>	<p>C04 口（腔）底の悪性新生物</p>
86	<p>C04.0 前部口腔底</p>	<p>C04.0 前部口（腔）底</p>
86	<p>C04.1 側部口腔底</p>	<p>C04.1 側部口（腔）底</p>
86	<p>C04.8 口腔底の境界部病巣</p>	<p>C04.8 口（腔）底の境界部病巣</p>
86	<p>C04.9 口腔底，部位不明</p>	<p>C04.9 口（腔）底，部位不明</p>

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
95	C31.1 筋骨洞<蜂巣>	C31.1 筋骨洞
104	女性性器の悪性新生物 (C51-C58) 包含：女性性器の皮膚	女性生殖器の悪性新生物 (C51-C58) 包含：女性生殖器の皮膚
104	C51 外陰の悪性新生物	C51 外陰(部)の悪性新生物
105	C51.8 外陰の境界部病巣	C51.8 外陰(部)の境界部病巣
105	C51.9 外陰, 部位不明	C51.9 外陰(部), 部位不明
106	C57 その他および部位不明の女性性器の悪性新生物	C57 その他および部位不明の女性生殖器の悪性新生物
106	C57.7 その他の明示された女性性器	C57.7 その他の明示された女性生殖器
106	C57.8 女性性器の境界部病巣 女性性器の悪性新生物で、その発生部位がC51-C57.7, C58のいずれの項目にも分類されないもの	C57.8 女性生殖器の境界部病巣 女性生殖器の悪性新生物で、その発生部位がC51-C57.7, C58のいずれの項目にも分類されないもの
106	C57.9 女性性器, 部位不明 女性尿路性器 NOS	C57.9 女性生殖器, 部位不明 女性尿路生殖器 NOS
106	男性性器の悪性新生物 (C60-C63) 包含：男性性器の皮膚	男性生殖器の悪性新生物 (C60-C63) 包含：男性生殖器の皮膚
107	C63 その他および部位不明の男性性器の悪性新生物	C63 その他および部位不明の男性生殖器の悪性新生物
107	C63.7 その他の明示された男性性器	C63.7 その他の明示された男性生殖器
107	C63.8 男性性器の境界部病巣	C63.8 男性生殖器の境界部病巣

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	男性性器の悪性新生物で、その発生部位がC60-C63.7のいずれの項目にも分類されないもの	男性生殖器の悪性新生物で、その発生部位がC60-C63.7のいずれの項目にも分類されないもの
107	C63.9 男性性器, 部位不明 男性尿路性器 NOS	C63.9 男性生殖器, 部位不明 男性尿路生殖器 NOS
108	尿路の悪性新生物 (C64-C68)	腎尿路の悪性新生物 (C64-C68)
108	C68 その他および部位不明の泌尿器の悪性新生物 除外：尿路性器 NOS：	C68 その他および部位不明の尿路の悪性新生物 除外：尿路生殖器 NOS：
109	C68.8 泌尿器の境界部病巣 泌尿器の悪性新生物で、その発生部位がC64-C68.1のいずれの項目にも分類されないもの	C68.8 腎尿路の境界部病巣 腎尿路の悪性新生物で、その発生部位がC64-C68.1のいずれの項目にも分類されないもの
109	C68.9 泌尿器, 部位不明	C68.9 尿路, 部位不明
109	眼, 脳および中枢神経系のその他の部位の悪性新生物 (C69-C72)	眼, 脳およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物 (C69-C72)
110	C71.0 脳葉および脳室を除く大脳 脳梁	C71.0 脳葉および脳室を除く大脳 削除
110	C72 脊髄, 脳神経および中枢神経系のその他の部位の悪性新生物	C72 脊髄, 脳神経およびその他の中枢神経系の部位の悪性新生物
111	C75.8 多腺併発, 部位不明	C75.8 複数の内分泌腺, 部位不明
113	C78.2 胸膜の続発性悪性新生物	C78.2 胸膜の続発性悪性新生物 悪性胸水 NOS
114	C79.1 膀胱ならびにその他および部位不明の泌尿器の続発性悪性新生物	C79.1 膀胱ならびにその他および部位不明の尿路の続発性悪性新生物

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
115	C83.7 パーキット<Burkitt> <u>リンパ腫</u>	C83.7 パーキット<Burkitt> <u>腫瘍</u>
117	C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞腫瘍	C90 多発性骨髄腫および悪性形質細胞性新生物
119	C94 <u>その他の細胞型の明示された白血病</u>	C94 <u>細胞型の明示されたその他の白血病</u>
124	D07 その他および部位不明の <u>性器</u> の上皮内癌	D07 その他および部位不明の <u>生殖器</u> の上皮内癌
124	D07.3 その他および部位不明の女性 <u>性器</u>	D07.3 その他および部位不明の女性 <u>生殖器</u>
125	D07.6 その他および部位不明の男性 <u>性器</u>	D07.6 その他および部位不明の男性 <u>生殖器</u>
125	D09.1 その他および部位不明の <u>泌尿器</u>	D09.1 その他および部位不明の <u>腎尿路</u>
125	D10.2 <u>口腔底</u>	D10.2 <u>口（腔）底</u>
127	D12.6 結腸, 部位不明 結腸のポリープ症（遺伝性）	D12.6 結腸, 部位不明 大腸ポリポージス<大腸腫瘍症>（遺伝性）
130	D18 血管腫およびリンパ管腫, <u>各部位</u>	D18 血管腫およびリンパ管腫, <u>全ての部位</u>
130	D18.0 血管腫, <u>各部位</u>	D18.0 血管腫, <u>全ての部位</u>
130	D18.1 リンパ管腫, <u>各部位</u>	D18.1 リンパ管腫, <u>全ての部位</u>
134	D28 その他および部位不明の女性性器の良性新生物 包含：女性 <u>性器</u> の皮膚	D28 その他および部位不明の女性生殖器の良性新生物 包含：女性 <u>生殖器</u> の皮膚
134	D28.7 その他の明示された女性 <u>性器</u>	D28.7 その他の明示された女性 <u>生殖器</u>
134	D28.9 女性 <u>性器</u> , 部位不明	D28.9 女性 <u>生殖器</u> , 部位不明

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
134	D29 男性性器の良性新生物 包含：男性性器の皮膚	D29 男性生殖器の良性新生物 包含：男性生殖器の皮膚
134	D29.7 その他の男性性器	D29.7 その他の男性生殖器
135	D29.9 男性性器，部位不明	D29.9 男性生殖器，部位不明
135	D30 泌尿器の良性新生物	D30 腎尿路の良性新生物
135	D30.7 その他の泌尿器	D30.7 その他の尿路
135	D30.9 泌尿器，部位不明	D30.9 尿路，部位不明
137	D35.8 多腺併発	D35.8 複数の内分泌腺
137	D36 <u>その他および部位不明の良性新生物</u>	D36 <u>その他の部位および部位不明の良性新生物</u>
139	D39 女性性器の性状不詳または不明の新生物	D39 女性生殖器の性状不詳または不明の新生物
140	D39.7 その他の女性性器 女性性器の皮膚	D39.7 その他の女性生殖器 女性生殖器の皮膚
140	D39.9 女性性器，部位不明	D39.9 女性生殖器，部位不明
140	D40 男性性器の性状不詳または不明の新生物	D40 男性生殖器の性状不詳または不明の新生物
140	D40.7 その他の男性性器 男性性器の皮膚	D40.7 その他の男性生殖器 男性生殖器の皮膚
140	D40.9 男性性器，部位不明	D40.9 男性生殖器，部位不明

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
140	D41 泌尿器の性状不詳または不明の新生物	D41 腎尿路の性状不詳または不明の新生物
140	D41.7 その他の泌尿器	D41.7 その他の尿路
140	D41.9 泌尿器, 部位不明	D41.9 尿路, 部位不明
141	D44.8 多腺併発	D44.8 複数の内分泌腺
144	D48.9 性状不詳または不明の新生物, 詳細不明	D48.9 性状不詳または不明の新生物, 部位不明
第Ⅲ章 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害		
148	D56.1 ベータサラセミア<地中海貧血> 鎌状赤血球ベータサラセミア<地中海貧血>	D56.1 ベータサラセミア<地中海貧血> 削除
149	D57 鎌状赤血球障害 除外：鎌状赤血球ベータサラセミア<地中海貧血>(D56.1)	D57 鎌状赤血球障害 削除
149	D57.2 重複ヘテロ接合型鎌状化障害	D57.2 重複ヘテロ複合型鎌状化障害 鎌状赤血球サラセミア<地中海貧血>
149	D57.3 鎌状赤血球保因者 ヘテロ接合型ヘモグロビンS	D57.3 鎌状赤血球保因者 ヘテロ複合型ヘモグロビンS
155	D68.0 フォン ウィレブランド<von Willebrand>病	D68.0 フォン ウ<ヴ>ィルブランド<ト><von Willebrand>病
155	D68.3 循環抗凝固物質による出血性障害	D68.3 循環抗凝固薬による出血性障害

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	<p>投与された抗凝固物質の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。</p>	<p><u>抗凝固薬の長期使用中における出血</u></p> <p>投与された抗凝固薬の分類が必要な場合は、追加外因コード（XX章）を使用する。</p> <p>除外：<u>出血を伴わない抗凝固薬の長期使用（Z92.1）</u></p>
158	D71 多（形）核好中球機能障害	D71 多形核好中球機能障害
163	D82 その他の大きな欠陥に関連する免疫不全症	D82 その他の大きな欠損に関連する免疫不全症
163	D82.8 その他の明示された大きな欠陥に関連する免疫不全症	D82.8 その他の明示された大きな欠損に関連する免疫不全症
163	D82.9 大きな欠陥に関連する免疫不全症, 詳細不明	D82.9 大きな欠損に関連する免疫不全症, 詳細不明
第IV章 内分泌, 栄養および代謝疾患		
176		<p>E16.4 <u>ガストリンの異常分泌</u></p> <p><u>高ガストリン血症</u></p> <p><u>ゾリンジャー・エリソン<Zollinger-Ellison>症候群</u></p>
176	<p>E16.8 <u>その他の明示された膵内分泌障害</u></p> <p><u>高ガストリン血症</u></p> <p><u>ゾリンジャー・エリソン<Zollinger-Ellison>症候群</u></p>	<p>E16.8 <u>その他の明示された膵内分泌障害</u></p> <p><u>削除</u></p> <p><u>削除</u></p>
191	E61 その他の<u>栄養性</u>元素欠乏症	E61 その他の<u>栄養素</u>欠乏症
192	E61.7 重複（性）<u>栄養性</u>元素欠乏症	E61.7 重複（性）<u>栄養素</u>欠乏症

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
192	E61.8 その他の明示された栄養性元素欠乏症	E61.8 その他の明示された栄養素欠乏症
192	E61.9 栄養性元素欠乏症, 詳細不明	E61.9 栄養素欠乏症, 詳細不明
194	E70.0 古典的フェニルケトン尿症	E70.0 古典型フェニルケトン尿症
194	E70.2 <u>チロジン代謝障害</u> チロジン血症 高チロジン血症 チロジン症	E70.2 <u>チロシン代謝障害</u> チロシン血症 高チロシン血症 チロシン症
201	E80.0 遺伝性赤芽球増殖性ポルフィリン症	E80.0 遺伝性骨髄性ポルフィリン症
203	E84 のう<嚢>胞性線維症	E84 のう<嚢>胞性線維症<システィックファイブローシス>
203	E84.0 肺の症状発現を伴うのう<嚢>胞性線維症	E84.0 肺の症状発現を伴うのう<嚢>胞性線維症<システィックファイブローシス>
203	E84.1 腸の症状発現を伴うのう<嚢>胞性線維症 胎便<メコニウム>イレウス† (P75*)	E84.1 腸の症状発現を伴うのう<嚢>胞性線維症<システィックファイブローシス> 胎便<メコニウム>イレウス† (P75*) <u>除外: のう胞性線維症が存在しないことが明らかな場合の胎便<メコニウム>閉塞<イレウス> (P76.0)</u>
203	E84.8 その他の症状発現を伴うのう<嚢>胞性線維症	E84.8 その他の症状発現を伴うのう<嚢>胞性線維症<システィックファイブローシス>
203	E84.9 のう<嚢>胞性線維症, 詳細不明	E84.9 のう<嚢>胞性線維症<システィックファイブローシス>, 詳細不明
206	E89 処置後内分泌および代謝障害, 他に分類されないもの	E89 治療後内分泌および代謝障害, 他に分類されないもの

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
206	E89.0 処置後甲状腺機能低下症	E89.0 治療後甲状腺機能低下症
206	E89.1 処置後低インスリン血症	E89.1 治療後低インスリン血症
206	E89.2 処置後副甲状腺<上皮小体>機能低下症	E89.2 治療後副甲状腺<上皮小体>機能低下症
206	E89.3 処置後下垂体機能低下症	E89.3 治療後下垂体機能低下症
206	E89.4 処置後卵巣機能不全(症)	E89.4 治療後卵巣機能不全(症)
206	E89.5 処置後精巣<睾丸>機能低下症	E89.5 治療後精巣<睾丸>機能低下症
206	E89.6 処置後副腎皮質(・髄質)機能低下症	E89.6 治療後副腎皮質(・髄質)機能低下症
206	E89.8 その他の処置後内分泌および代謝障害	E89.8 その他の治療後内分泌および代謝障害
206	E89.9 処置後内分泌および代謝障害, 詳細不明	E89.9 治療後内分泌および代謝障害, 詳細不明
第V章 精神および行動の障害		
207	<p>本章は次の中間分類項目を含む：</p> <p>F20-F29 精神分裂病, 分裂病型障害および妄想性障害</p> <p>本章の星印(*)項目は下記のとおりである：</p> <p>F00* アルツハイマー<Alzheimer>病の痴呆</p> <p>F02* 他に分類されるその他の疾患の痴呆</p>	<p>本章は次の中間分類項目を含む：</p> <p>F20-F29 統合失調症, 統合失調症型障害および妄想性障害</p> <p>本章の星印(*)項目は下記のとおりである：</p> <p>F00* アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症</p> <p>F02* 他に分類されるその他の疾患の認知症</p>
207	症状性を含む器質性精神障害 (F00-F09)	症状性を含む器質性精神障害 (F00-F09)

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	痴呆の記載箇所	認知症に変更
208	F00* アルツハイマー<Alzheimer>病の痴呆 (G30.-†)	F00* アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症 (G30.-†)
208	F00.0* アルツハイマー<Alzheimer>病の痴呆, 早発性 (G30.0†) 痴呆の記載箇所	F00.0* アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症, 早発性 (G30.0†) 認知症に変更
208	F00.1* アルツハイマー<Alzheimer>病の痴呆, 晩発性 (G30.1†) 痴呆の記載箇所	F00.1* アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症, 晩発性 (G30.1†) 認知症に変更
208	F00.2* アルツハイマー<Alzheimer>病の痴呆, 非定型または混合型 (G30.8†) 痴呆の記載箇所	F00.2* アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症, 非定型または混合型 (G30.8†) 認知症に変更
208	F00.9* アルツハイマー<Alzheimer>病の痴呆, 詳細不明 (G30.9†)	F00.9* アルツハイマー<Alzheimer>病の認知症, 詳細不明 (G30.9†)
208	F01 血管性痴呆 痴呆の記載箇所	F01 血管性認知症 認知症に変更
208	F01.0 急性発症の血管性痴呆	F01.0 急性発症の血管性認知症
209	F01.1 多発梗塞性痴呆 痴呆の記載箇所	F01.1 多発梗塞性認知症 認知症に変更
209	F01.2 皮質下血管性痴呆 痴呆の記載箇所	F01.2 皮質下血管性認知症 認知症に変更
209	F01.3 皮質および皮質下混合性血管性痴呆	F01.3 皮質および皮質下混合性血管性認知症

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
209	F01.8 その他の血管性痴呆	F01.8 その他の血管性認知症
209	F01.9 血管性痴呆, 詳細不明	F01.9 血管性認知症, 詳細不明
209	F02* 他に分類されるその他の疾患の痴呆 痴呆の記載箇所	F02* 他に分類されるその他の疾患の認知症 認知症に変更
209	F02.0* ピック<Pick>病の痴呆 (G31.0†) 痴呆の記載箇所	F02.0* ピック<Pick>病の認知症 (G31.0†) 認知症に変更
209	F02.1* クロイツフェルト・ヤコブ<Creutzfeldt-Jakob>病の痴呆 (A81.0†) 痴呆の記載箇所	F02.1* クロイツフェルト・ヤコブ<Creutzfeldt-Jakob>病の認知症 (A81.0†) 認知症に変更
209	F02.2* ハンチントン<Huntington>病の痴呆 (G10†) 痴呆の記載箇所	F02.2* ハンチントン<Huntington>病の認知症 (G10†) 認知症に変更
209	F02.3* パーキンソン<Parkinson>病の痴呆 (G20†) 痴呆の記載箇所	F02.3* パーキンソン<Parkinson>病の認知症 (G20†) 認知症に変更
210	F02.4* ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病の痴呆 (B22.0†) 痴呆の記載箇所	F02.4* ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病の認知症 (B22.0†) 認知症に変更
210	F02.8* 他に分類されるその他の明示された疾患の痴呆 痴呆 (下記における) : ・甲状腺機能低下症, 後天性 (E01.-†, E03.0†, E03.2†, E03.9†)	F02.8* 他に分類されるその他の明示された疾患の認知症 認知症 (下記における) : ・甲状腺機能低下症, 後天性 (E01.-†, E03.-†)

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
210	F03 詳細不明の痴呆 痴呆の記載箇所	F03 詳細不明の認知症 認知症に変更
211	F05.0 せん妄，痴呆に重ならないもの	F05.0 せん妄，認知症に重ならないもの
211	F05.1 せん妄，痴呆に重なったもの 痴呆の記載箇所	F05.1 せん妄，認知症に重なったもの 認知症に変更
212	F06 脳の損傷および機能不全ならびに身体疾患によるその他の精神障害 痴呆の記載箇所	F06 脳の損傷および機能不全ならびに身体疾患によるその他の精神障害 認知症に変更
212	F06.0 器質性幻覚症 除外： 精神分裂病	F06.0 器質性幻覚症 除外： 統合失調症
212	F06.1 器質性緊張病性障害 除外： 緊張型分裂病	F06.1 器質性緊張病性障害 除外： 緊張型統合失調症
213	F06.2 器質性妄想性〔分裂病様〕障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F06.2 器質性妄想性〔統合失調症様〕障害 統合失調症に変更
213	F06.3 器質性気分〔感情〕障害 この障害の特徴は気分または感情の変化であり，通常は活動性の全体的水準の変化を伴っており，抑うつ性，軽躁性，躁性または双極性（F30-F32を参照）であるが，器質性障害の結果として生じたものである。	F06.3 器質性気分〔感情〕障害 この障害の特徴は気分または感情の変化であり，通常は活動性の全体的水準の変化を伴っており，抑うつ性，軽躁性，躁性または双極性（F30-F38を参照）であるが，器質性障害の結果として生じたものである。
214	F06.7 軽症認知障害	F06.7 軽症認知障害

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	痴呆の記載箇所	認知症に変更
217	下記の4桁分類項目は項目F10 - F19に使用する F10 急性中毒	下記の4桁分類項目は項目F10 - F19に使用する。 F10 急性中毒 除外：薬物による中毒<poisoning>を意味する場合(T36-T50)
221	精神分裂病、分裂病型障害および妄想性障害（F20-F29） 精神分裂病または分裂病の記載箇所	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害（F20-F29） 統合失調症に変更
221	F20 精神分裂病 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F20 統合失調症 統合失調症に変更
222	F20.0 妄想型分裂病 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F20.0 妄想型統合失調症 統合失調症に変更
222	F20.1 破瓜型分裂病 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F20.1 破瓜型統合失調症 統合失調症に変更
222	F20.2 緊張型分裂病 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F20.2 緊張型統合失調症 統合失調症に変更
223	F20.3 型分類困難な分裂病 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F20.3 型分類困難な統合失調症 統合失調症に変更
223	F20.4 分裂病後抑うつ	F20.4 統合失調症後抑うつ

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	精神分裂病または分裂病の記載箇所	統合失調症に変更
223	F20.5 残遺分裂病 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F20.5 残遺型統合失調症 統合失調症に変更
223	F20.6 単純型分裂病 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F20.6 単純型統合失調症 統合失調症に変更
224	F20.8 その他の分裂病 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F20.8 その他の統合失調症 統合失調症に変更
224	F20.9 精神分裂病，詳細不明	F20.9 統合失調症，詳細不明
224	F21 分裂病型障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F21 統合失調症型障害 統合失調症に変更
224	F22 持続性妄想性障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F22 持続性妄想性障害 統合失調症に変更
225	F22.0 妄想性障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F22.0 妄想性障害 統合失調症に変更
225	F22.8 その他の持続性妄想性障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F22.8 その他の持続性妄想性障害 統合失調症に変更
226	F23.0 分裂病症状を伴わない急性多形性精神病性障害	F23.0 統合失調症症状を伴わない急性多形性精神病性障害

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	精神分裂病または分裂病の記載箇所	統合失調症に変更
226	F23.1 分裂病症状を伴う急性多形性精神病性障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F23.1 統合失調症症状を伴う急性多形性精神病性障害 統合失調症に変更
227	F23.2 急性分裂病様精神病性障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F23.2 急性統合失調症様精神病性障害 統合失調症に変更
227	F23.3 その他の妄想を主とする急性精神病性障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F23.3 その他の妄想を主とする急性精神病性障害 統合失調症に変更
228	F25 分裂感情障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F25 統合失調感情障害 統合失調症に変更
228	F25.0 分裂感情障害，躁病型 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F25.0 統合失調感情障害，躁病型 統合失調症に変更
228	F25.1 分裂感情障害，うつ病型 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F25.1 統合失調感情障害，うつ病型 統合失調症に変更
228	F25.2 分裂感情障害，混合型 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F25.2 統合失調感情障害，混合型 統合失調症に変更
228	F25.8 その他の分裂感情障害	F25.8 その他の統合失調感情障害
228	F25.9 分裂感情障害，詳細不明	F25.9 統合失調感情障害，詳細不明

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	精神分裂病または分裂病の記載箇所	統合失調症に変更
229	F28 その他の非器質性精神病性障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F28 その他の非器質性精神病性障害 統合失調症に変更
231	F31 双極性感情障害 この障害の特徴は、患者の気分と活動性水準が著明に障害される2回以上のエピソードが…軽躁病または躁病のエピソードだけを反復している患者はその他の双極性感情障害（F31.8）として分類すべきである。	F31 双極性感情障害 この障害の特徴は、患者の気分と活動性水準が著明に障害されるような2回以上のエピソードが…軽躁病または躁病のエピソードだけを反復している患者はその他の双極性感情障害として分類すべきである。
232	F31.8 その他の双極性感情障害 反復性躁病エピソード	F31.8 その他の双極性感情障害 反復性躁病エピソード <u>NOS</u>
247	F45.0 身体化障害	F45.0 身体化障害 <u>ブリッケ</u> ＜Briquet＞障害
251	F48.8 その他の明示された神経症性障害 ブリッケ障害	F48.8 その他の明示された神経症性障害 削除
260	F60.1 分裂病質性人格障害 精神分裂病または分裂病の記載箇所	F60.1 統合失調症質性人格障害 統合失調症に変更
279	F84.3 その他の乳児＜児童＞期崩壊性障害 幼児性痴呆	F84.3 その他の乳児＜児童＞期崩壊性障害 幼児性認知症

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
第VI章 神経系の疾患		
304	G30 アルツハイマー<Alzheimer>病 除外：老人性： ・痴呆 NOS (F03)	G30 アルツハイマー<Alzheimer>病 除外：老人性： ・認知症 NOS (F03)
306	G37.5 同心性硬化症 [パロー<Baló>]	G37.5 同心円性硬化症 [パロー<Baló>]
307	G40.3 全身性特発性てんかんおよびてんかん（性）症候群	G40.3 全般性特発性てんかんおよびてんかん（性）症候群
307	G40.4 その他の全身性てんかんおよびてんかん（性）症候群	G40.4 その他の全般性てんかんおよびてんかん（性）症候群
308	G43.2 片頭痛持続状態	G43.2 片頭痛発作重積状態
310	G46.5* 純運動（性）多発性小梗塞<ラクネ>症候群（160-167†）	G46.5* 純運動（性）多発性小梗塞<ラクナ>症候群（160-167†）
310	G46.6* 純感覚（性）多発性小梗塞<ラクネ>症候群（160-167†）	G46.6* 純感覚（性）多発性小梗塞<ラクナ>症候群（160-167†）
310	G46.7* その他の多発性小梗塞<ラクネ>症候群（160-167†）	G46.7* その他の多発性小梗塞<ラクナ>症候群（160-167†）
312	G51.3 間代性一側性顔面けいれん<痙攣>	G51.3 間代性片側顔面れん<攣>縮
313	G54.0 上腕神経そう<叢>障害	G54.0 腕神経そう<叢>障害
321	G80 脳性麻痺 包含：リットル<Little>病	G80 脳性麻痺 削除
321	G80.0 けい<痙>性脳性麻痺	G80.0 けい<痙>性四肢麻痺型脳性麻痺

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
321	G80.1 <u>けいこ瘻</u> 性両（側）麻痺	G80.1 <u>けいこ瘻</u> 性両（側）麻痺型脳性麻痺 <u>けいこ瘻</u> 性脳性麻痺 NOS
321	G80.2 <u>小児片麻痺</u>	G80.2 <u>けいこ瘻</u> 性片麻痺型脳性麻痺
321	G80.3 ジスキネジー性脳性麻痺	G80.3 ジスキネジー性脳性麻痺 <u>ジストニー</u> 型脳性麻痺
321	G81 <u>片麻痺</u> 除外：先天性および小児の脳性麻痺 (G80. -)	G81 <u>片麻痺</u> 除外：先天性の脳性麻痺 (G80. -)
321	G82 <u>対麻痺および四肢麻痺</u> 除外：先天性および小児の脳性麻痺 (G80. -)	G82 <u>対麻痺および四肢麻痺</u> 除外：先天性の脳性麻痺 (G80. -)
323		G90.4 <u>自律神経の異常反射</u>
第Ⅶ章 目および付属器の疾患		
349	H50.2 <u>上下斜視</u>	H50.2 <u>上下斜視</u> <u>上斜視</u> <u>下斜視</u>
第Ⅷ章 耳および乳様突起の疾患		
356	H60.1 <u>外耳の蜂巣炎</u>	H60.1 <u>外耳の蜂巣炎<蜂窩織炎></u>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
357	H65 非化膿性中耳炎 包含： 鼓膜炎を伴うもの	H65 非化膿性中耳炎 包含： 鼓膜炎を伴うもの <u>鼓膜穿孔の存在を分類する場合は追加コード(H72.-)を使用する。</u>
358	H65.3 慢性ムコイド中耳炎	H65.3 慢性粘液性中耳炎
358	H66 化膿性および詳細不明の中耳炎 包含： 鼓膜炎を伴うもの	H66 化膿性および詳細不明の中耳炎 包含： 鼓膜炎を伴うもの <u>鼓膜穿孔の存在を分類する場合は追加コード(H72.-)を使用する。</u>
360	H71 中耳真珠腫（症） <u>鼓室真珠腫（症）</u> 除外： 外耳道真珠腫（症）（H60.4） 乳突洞削開術後腔の再発性 <u>真珠腫（症）</u> （H95.0）	H71 中耳真珠腫 鼓室 <u>真珠腫</u> 除外： 外耳道真珠腫（症）（H60.4） 乳突洞削開術後腔の再発性 <u>真珠腫</u> （H95.0）
364	H90.6 両側性混合性難聴	H90.6 両側性混合難聴
364	H90.7 一側性混合性難聴，反対側の聴力障害を伴わないもの	H90.7 片側性混合難聴，反対側の聴力障害を伴わないもの
364	H90.8 混合性難聴，詳細不明	H90.8 混合難聴，詳細不明
365	H95.0 乳突洞削開術後腔の再発性真珠腫（症）	H95.0 乳突洞削開術後腔の再発性真珠腫

第IX章 循環器系の疾患

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
370	107 リウマチ性三尖弁疾患 包含： リウマチ性の記載の有無にかかわらない 除外： 非リウマチ性と明示された <u>もの</u> （I36.-）	107 リウマチ性三尖弁疾患 包含： リウマチ性と明示されているものまたは原因の特定できない <u>もの</u> 除外： 非リウマチ性と明示された <u>場合</u> （I36.-）
370	108 連合弁膜症 包含： リウマチ性の記載の有無にかかわらない 除外： 心内膜のリウマチ性疾患，弁膜不詳（I09.1） 心内膜炎，弁膜不詳（I38）	108 連合弁膜症 包含： リウマチ性と明示されているものまたは原因の特定できない <u>もの</u> 除外： 心内膜のリウマチ性疾患，弁膜不詳（I09.1） 心内膜炎，弁膜不詳（I38） <u>リウマチ性心疾患以外の明示された原因による連合弁膜症（I34-I38，Q22-Q23，Q24.8にある該当するコードを使用する。）</u>
370	108.0 僧帽弁および大動脈弁の合併障害 僧帽弁および大動脈弁症の合併，リウマチ性の記載の <u>有無にかかわらない</u>	108.0 僧帽弁および大動脈弁の合併障害 僧帽弁および大動脈弁症の合併，リウマチ性と明示されているものまたは原因の特定できないもの
378		127.2 その他の二次性<続発性>肺高血圧（症） 原因疾患の分類が必要な場合には追加コードを使用する。
381	134 非リウマチ性僧帽弁障害 除外： 僧帽弁： ・狭窄（症）（I05.0） ・不全（症）（I05.8）	134 非リウマチ性僧帽弁障害 除外： 僧帽弁： ・疾患（I05.9） ・不全（症）（I05.8）

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患(I05.9) リウマチ性と明示された<u>もの</u>(I05.-) 原因不明であるが<u>下記のように記載されたもの</u>： <ul style="list-style-type: none"> ・僧帽弁狭窄（症）または閉塞（症）(I05.0) ・大動脈弁の疾患(I08.0) 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭窄（症）(I05.0) リウマチ性と明示された<u>場合</u>(I05.-) 原因不明であるが<u>下記の記載を伴う場合</u>： <ul style="list-style-type: none"> ・僧帽弁狭窄（症）または閉塞（症） <u><obstruction></u> (I05.0) ・大動脈弁の疾患(I08.0) <u>先天性と明示された場合(Q23.2, Q23.3)</u>
381	I35 非リウマチ性大動脈弁障害 除外： リウマチ性と明示された <u>もの</u> (I06.-) 原因不明であるが僧帽弁疾患の記載を伴う <u>もの</u> (I08.0) 肥大性大動脈弁下狭窄（症）(I42.1)	I35 非リウマチ性大動脈弁障害 除外： リウマチ性と明示された <u>場合</u> (I06.-) 原因不明であるが僧帽弁疾患の記載を伴う <u>場合</u> (I08.0) <u>先天性と明示された場合(Q23.0, Q23.1)</u> 肥大性大動脈弁下狭窄（症）(I42.1)
382	I36 非リウマチ性三尖弁障害 除外： リウマチ性と明示された <u>もの</u> (I07.-) 原因不明(I07.-)	I36 非リウマチ性三尖弁障害 除外： リウマチ性と明示された <u>場合</u> (I07.-) 原因不明 <u>の場合</u> (I07.-) <u>先天性と明示された場合(Q22.4, Q22.8, Q22.9)</u>
382	I36.1 非リウマチ性三尖弁閉鎖不全(症) } 原因が明示された <u>もの</u> ，リウマチ性を除く	I36.1 非リウマチ性三尖弁閉鎖不全(症) } 原因が明示された <u>場合</u> ，リウマチ性を除く

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
382	137 肺動脈弁障害 除外： リウマチ性と明示された <u>もの</u> (I09.8)	137 肺動脈弁障害 除外： リウマチ性と明示された <u>場合</u> (I09.8) <u>先天性と明示された場合</u> (Q22.1, Q22.2, Q22.3)
382	137.1 肺動脈弁閉鎖不全（症） } NOSまたは原因が明示された <u>もの</u> ，リウマチ性を除く	137.1 肺動脈弁閉鎖不全（症） } NOSまたは原因が明示された <u>場合</u> ，リウマチ性を除く
383	138 心内膜炎，弁膜不詳 心内膜炎（慢性）NOS 弁膜（性）： <ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖不全（症） ・逆流（症） ・狭窄（症） (心) 弁膜炎（慢性） } 詳細不明の弁膜NOSまたは原因が明示されたもの，リウマチ性を除く 除外： リウマチ性と明示された <u>もの</u> (I09.1) 心内膜線維弾性症 (I42.4)	138 心内膜炎，弁膜不詳 心内膜炎（慢性）NOS 弁膜（性）： <ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖不全（症） ・逆流（症） ・狭窄（症） (心) 弁膜炎（慢性） } 詳細不明の弁膜NOSまたは原因が明示されたもの，リウマチ性 <u>または先天性</u> を除く 除外： リウマチ性と明示された <u>場合</u> (I09.1) 心内膜線維弾性症 (I42.4) <u>心臓弁の先天性不全 NOS (Q24.8)</u> <u>心臓弁の先天性狭窄 NOS (Q24.8)</u>
384	142.0 拡張型心筋症	142.0 拡張型心筋症 <u>うっ血型心筋症</u>
385	142.5 その他の拘束型心筋症	142.5 その他の拘束型心筋症

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
		拘束型心筋症 NOS
387	I47 発作性頻拍 (症) 除外： 頻脈<拍> <u>NOS (R00.0)</u>	I47 発作性頻拍 (症) 除外： 頻脈<拍> : <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>NOS (R00.0)</u> ・ <u>洞 [洞性] NOS (R00.0)</u> ・ <u>洞房性 NOS (R00.0)</u>
388	I49 その他の不整脈 除外： 徐脈<拍> <u>NOS (R00.1)</u>	I49 その他の不整脈 除外： 徐脈<拍> : <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>NOS (R00.1)</u> ・ <u>洞性 (R00.1)</u> ・ <u>洞房性 (R00.1)</u> ・ <u>迷走神経性 (R00.1)</u>
391	脳血管疾患 (I60-I69) 除外： 血管性痴呆 (F01.-)	脳血管疾患 (I60-I69) 除外： 血管性認知症 (F01.-)
393	I64 脳血管発作, 脳出血または脳梗塞と明示されないもの <u>脳血管発作</u> NOS 除外： <u>脳血管発作</u> の続発・後遺症 (I69.4)	I64 脳卒中, 脳出血または脳梗塞と明示されないもの <u>脳卒中</u> NOS 除外： <u>脳卒中</u> の続発・後遺症 (I69.4)

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
394	167.3 進行性血管性白質脳症 除外：皮質下血管性痴呆	167.3 進行性血管性白質脳症 除外：皮質下血管性認知症
395	169.4 脳血管発作の続発・後遺症，出血または梗塞と明示されないもの	169.4 脳卒中の続発・後遺症，出血または梗塞と明示されないもの
第X章 呼吸器の疾患		
410	J00 急性鼻咽頭炎[かぜ]	J00 急性鼻咽頭炎[かぜ]＜感冒＞
422	J34.1 副鼻腔のう＜囊＞胞または粘液のう＜囊＞胞＜腫＞	J34.1 鼻および副鼻腔の，う＜囊＞胞および粘液のう＜囊＞胞＜腫＞
424	J38 声帯および喉頭の疾患，他に分類されないもの 除外：先天性喉頭喘鳴（Q31.4） 喘鳴＜stridor＞： （R06.1）	J38 声帯および喉頭の疾患，他に分類されないもの 除外： 喘鳴＜stridor＞： ・ <u>NOS（R06.1）</u> ・ <u>先天性（喉頭） NOS（P28.8）</u>
429	J44.8 その他の明示された慢性閉塞性肺疾患 慢性気管支炎： ・喘息性（閉塞性）NOS ・気腫性 NOS ・閉塞性 NOS	J44.8 その他の明示された慢性閉塞性肺疾患 慢性気管支炎： ・喘息性（閉塞性）NOS ・気腫性 NOS ・閉塞性 NOS

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
		<p><u>除外</u>：急性下気道感染症を伴うもの(J44.0)</p> <p><u>急性憎悪を伴うもの(J44.1)</u></p>
431	<p>J60 炭鉱夫じん<塵>肺（症）</p> <p>炭鉱夫肺（症）</p> <p>炭（粉）珪肺（症）</p> <p>炭粉沈着症</p> <p>除外：結核を伴うもの(J65)</p>	<p>J60 炭鉱夫じん<塵>肺（症）</p> <p>炭鉱夫肺（症）</p> <p>炭（粉）珪肺（症）</p> <p>炭粉沈着症<炭肺症></p> <p>除外：<u>A15-A16</u>の結核を伴うもの(J65)</p>
431	<p>J61 石綿<アスベスト>およびその他の無機質線維によるじん<塵>肺（症）</p> <p>石綿<アスベスト>肺（症）</p> <p>除外：結核を伴うもの(J65)</p> <p>石綿<アスベスト>肺（症）を伴う胸膜斑<プラグ>(J92.0)</p>	<p>J61 石綿<アスベスト>およびその他の無機質線維によるじん<塵>肺（症）</p> <p>石綿<アスベスト>肺（症）</p> <p>除外：<u>A15-A16</u>の結核を伴うもの(J65)</p> <p>石綿<アスベスト>肺（症）を伴う胸膜斑<プラーク>(J92.0)</p>
431	<p>J62 珪酸を含む粉じん<塵>によるじん<塵>肺（症）</p> <p>包含：珪酸性肺線維症（塊状）</p> <p>除外：結核を伴うじん<塵>肺（症）(J65)</p>	<p>J62 珪酸を含む粉じん<塵>によるじん<塵>肺（症）</p> <p>包含：珪酸性肺線維症（塊状）</p> <p>除外：<u>A15-A16</u>の結核を伴うじん<塵>肺（症）(J65)</p>
431	<p>J63 その他の無機粉じん<塵>によるじん<塵>肺（症）</p> <p>除外：結核を伴うもの(J65)</p>	<p>J63 その他の無機粉じん<塵>によるじん<塵>肺（症）</p> <p>除外：<u>A15-A16</u>の結核を伴うもの(J65)</p>
432	<p>J64 詳細不明のじん<塵>肺（症）</p>	<p>J64 詳細不明のじん<塵>肺（症）</p>

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
	除外：結核を伴うもの (J65)	除外：A15-A16の結核を伴うもの (J65)
437	J92 胸膜斑<プラク>	J92 胸膜斑<プラーク>
437	J92. 0 石綿<アスベスト>を含む胸膜斑<プラク>	J92. 0 石綿<アスベスト>を含む胸膜斑<プラーク>
437	J92. 9 石綿<アスベスト>を含まない胸膜斑<プラク> 胸膜斑<プラク>	J92. 9 石綿<アスベスト>を含まない胸膜斑<プラーク> 胸膜斑<プラーク>
第 X I 章 消化器系の疾患		
447	K04 歯髄および根尖歯周組織の疾患	K04 歯髄および根尖部歯周組織の疾患
451	K08. 2 無歯顎堤の退縮	K08. 2 無歯顎堤の萎縮
455	K12. 1 口内炎のその他の型	K12. 1 その他の型の口内炎
456	K13. 3 有毛性白板症	K13. 3 毛様白板症
456	K13. 5 口腔の粘膜下線維症	K13. 5 口腔粘膜下線維症
461	K29 胃炎および十二指腸炎 除外： Zollinger- Ellison <Zollinger- Ellison> 症候群 (E16. 8)	K29 胃炎および十二指腸炎 除外： Zollinger- Ellison <Zollinger- Ellison> 症候群 (E16. 4)
462	K30 消化不良 (症) 除外：消化不良 (症) :	K30 <u>ディスペプシア (症)</u> 除外： <u>ディスペプシア (症)</u> :
463		K31. 7 <u>胃および十二指腸のポリープ</u> 除外：胃の腺腫性ポリープ (D13. 1)

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
463	<p>K35.0 汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎</p> <p><u>下記を伴う虫垂炎（急性）：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・穿孔 ・腹膜炎（汎発性） ・破裂 	<p>K35.0 汎発性腹膜炎を伴う急性虫垂炎</p> <p><u>虫垂炎（急性），下記を伴う：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・穿孔 ・腹膜炎（汎発性）<u>（限局性）破裂または穿孔後に発生するもの</u> ・破裂
464	<p>K35.9 急性虫垂炎，詳細不明</p> <p><u>下記を伴わない急性虫垂炎：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・穿孔 ・腹腔内膿瘍 ・腹膜炎 ・破裂 	<p>K35.9 急性虫垂炎，詳細不明</p> <p><u>急性虫垂炎，腹膜炎（限局性またはNOS）を伴うもの</u></p> <p><u>急性虫垂炎，下記を伴わないもの：</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>汎発性腹膜炎</u> ・穿孔 ・腹腔内膿瘍 削除 ・破裂
471	<p>K56 麻痺性イレウスおよび腸閉塞，ヘルニアを伴わないもの</p> <p>除外： P76.-に分類される新生児腸閉塞</p>	<p>K56 麻痺性イレウスおよび腸閉塞，ヘルニアを伴わないもの</p> <p>削除</p>
472	<p>K56.6 その他および詳細不明の腸閉塞</p>	<p>K56.6 その他および詳細不明の腸閉塞</p> <p>除外： P76.8, P76.9に分類される，<u>その他および詳細不明の新生児腸閉塞</u></p>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
476	K62.8 肛門および直腸のその他の明示された疾患 直腸の（非外傷性）穿孔	K62.8 肛門および直腸のその他の明示された疾患 削除
477		K63.5 大腸<結腸>のポリープ 除外： <u>大腸<結腸>の腺腫性ポリープ</u> （D12.6） <u>大腸ポリポージス<大腸腺腫症></u> （D12.6）
482	K73.2 慢性活動性肝炎，他に分類されないもの ルポイド肝炎—NEC	K73.2 慢性活動性肝炎，他に分類されないもの 削除
483		K75.4 自己免疫性肝炎 <u>ルポイド肝炎 NEC</u>
第XII章 皮膚および皮下組織の疾患		
496	L03 蜂巣炎 除外： 下記の蜂巣炎： 好酸球性蜂巣炎 [ウェルズ<Wells>病]（L98.3）	L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> 除外： 下記の蜂巣炎<蜂窩織炎>： 好酸球性蜂巣炎<蜂窩織炎> [ウェルズ<Wells>病]（L98.3）
496	L03.0 手指および趾<足ゆび>の蜂巣炎	L03.0 手指および趾<足ゆび>の蜂巣炎<蜂窩織炎>
496	L03.1 (四)肢のその他の部位の蜂巣炎	L03.1 (四)肢のその他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>
496	L03.2 顔面の蜂巣炎	L03.2 顔面の蜂巣炎<蜂窩織炎>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
497	L03.3 体幹の蜂巣炎	L03.3 体幹の蜂巣炎<蜂窩織炎>
497	L03.8 その他の部位の蜂巣炎	L03.8 その他の部位の蜂巣炎<蜂窩織炎>
497	L03.9 蜂巣炎, 詳細不明	L03.9 蜂巣炎<蜂窩織炎>, 詳細不明
500	L22 おむつ皮膚炎	L22 おむつ<ナプキン>皮膚炎
502	L24 刺激物質(性)接触皮膚炎 包含：刺激物質(性)接触湿疹 除外：皮膚炎 ・おむつ(L22)	L24 刺激性接触皮膚炎 包含：刺激性接触湿疹 除外：皮膚炎 ・おむつ<ナプキン>(L22)
502	L24.0 洗剤による刺激物質(性)接触皮膚炎	L24.0 洗剤による刺激性接触皮膚炎
502	L24.1 油脂およびグリースによる刺激物質(性)接触皮膚炎	L24.1 油脂およびグリースによる刺激性接触皮膚炎
502	L24.2 溶剤による刺激物質(性)接触皮膚炎	L24.2 溶剤による刺激性接触皮膚炎
502	L24.3 化粧品による刺激物質(性)接触皮膚炎	L24.3 化粧品による刺激性接触皮膚炎
502	L24.4 医薬品の皮膚接触による刺激物質(性)接触皮膚炎	L24.4 医薬品の皮膚接触による刺激性接触皮膚炎
502	L24.5 その他の化学物質による刺激物質(性)接触皮膚炎	L24.5 その他の化学物質による刺激性接触皮膚炎
502	L24.6 食物の皮膚接触による刺激物質(性)接触皮膚炎	L24.6 食物の皮膚接触による刺激性接触皮膚炎
502	L24.7 植物による刺激物質(性)接触皮膚炎, 食物を除く	L24.7 植物による刺激性接触皮膚炎, 食物を除く
502	L24.8 その他の因子による刺激物質(性)接触皮膚炎	L24.8 その他の因子による刺激性接触皮膚炎

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
502	L24.9 <u>刺激物質(性)接触皮膚炎, 原因不明</u> 刺激物質(性)接触湿疹 NOS	L24.9 <u>刺激性接触皮膚炎, 原因不明</u> 刺激性接触湿疹 NOS
512	L67 <u>毛髪色および毛幹の異常</u>	L67 <u>毛髪の色および毛幹の異常</u>
512	L67.1 <u>毛髪色の变化</u>	L67.1 <u>毛髪の色の変化</u>
512	L67.8 <u>その他の毛髪色および毛幹の異常</u>	L67.8 <u>その他の毛髪の色および毛幹の異常</u>
513	L67.9 <u>毛髪色および毛幹の異常, 詳細不明</u>	L67.9 <u>毛髪の色および毛幹の異常, 詳細不明</u>
514	L73 <u>その他の毛包<のう<囊>>障害</u>	L73 <u>その他の毛包障害</u>
514	L73.8 <u>その他の明示された毛包<のう<囊>>障害</u>	L73.8 <u>その他の明示された毛包障害</u>
514	L73.9 <u>毛包<のう<囊>>障害, 詳細不明</u>	L73.9 <u>毛包障害, 詳細不明</u>
515	L81 <u>その他の色素(沈着)異常症</u>	L81 <u>その他の色素異常症</u>
515	L81.8 <u>その他の明示された色素(沈着)異常症</u>	L81.8 <u>その他の明示された色素異常症</u>
515	L81.9 <u>色素(沈着)異常症, 詳細不明</u>	L81.9 <u>色素異常症, 詳細不明</u>
517	L87 <u>経表皮排除疾患</u>	L87 <u>経表皮性排除疾患</u>
517	L87.8 <u>その他の経表皮排除疾患</u>	L87.8 <u>その他の経表皮性排除疾患</u>
517	L87.9 <u>経表皮排除疾患, 詳細不明</u>	L87.9 <u>経表皮性排除疾患, 詳細不明</u>
517	L90.0 <u>硬化萎縮性苔せん<癬></u>	L90.0 <u>硬化性萎縮性苔せん<癬></u> <u>除外：外性器<外陰部>の硬化性苔せん<癬></u>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
		<ul style="list-style-type: none"> ・男性 (N48.0) ・女性 (N90.4)
520	L98.3 好酸球性蜂巣炎[ウェルズ<Wells>病]	L98.3 好酸球性蜂巣炎<蜂窩織炎>[ウェルズ<Wells>病]
第XIII章 筋骨格系および結合組織の疾患		
523	第XIII章 筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99) 除外： コンパートメント<筋区画>症候群(T79.6)	第XIII章 筋骨格系および結合組織の疾患(M00-M99) 除外： <u>顎関節の主要障害</u> (K07.6) コンパートメント<筋区画>症候群， <u>外傷性</u> (T79.6)
528	M05 血清反応陽性慢性関節リウマチ 除外： <u>慢性関節リウマチ</u>	M05 血清反応陽性関節リウマチ 除外： <u>関節リウマチ</u>
528	M05.0 フェルティール<Felty>症候群 脾腫および白血球減少症を伴う <u>慢性関節リウマチ</u>	M05.0 フェルティール<Felty>症候群 脾腫および白血球減少症を伴う <u>関節リウマチ</u>
528	M05.3† その他の臓器および器官系の併発症を伴う <u>慢性関節リウマチ</u> (慢性関節)リウマチ性：	M05.3† その他の臓器および器官系の併発症を伴う <u>関節リウマチ</u> (関節)リウマチ性：
528	M05.8 その他の血清反応陽性慢性関節リウマチ	M05.8 その他の血清反応陽性関節リウマチ
528	M05.9 血清反応陽性慢性関節リウマチ，詳細不明	M05.9 血清反応陽性関節リウマチ，詳細不明
528	M06 その他の <u>慢性関節リウマチ</u>	M06 その他の <u>関節リウマチ</u>

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
528	M06.0 血清反応陰性慢性関節リウマチ	M06.0 血清反応陰性関節リウマチ
528	M06.8 その他の明示された慢性関節リウマチ	M06.8 その他の明示された関節リウマチ
529	M06.9 慢性関節リウマチ, 詳細不明	M06.9 関節リウマチ, 詳細不明
529	M08.0 若年性慢性関節リウマチ リウマトイド<リウマチ>因子を伴うまたは伴わない若年性慢性 関節リウマチ	M08.0 若年性関節リウマチ リウマトイド<リウマチ>因子を伴うまたは伴わない若年性関節 リウマチ
540	M24.8 その他の明示された関節内障, 他に分類されないもの 過敏性股 (関節)	M24.8 その他の明示された関節内障, 他に分類されないもの 過敏性股 (関節) 除外: 腸脛靭帯症候群を含むもの (M76.3)
550	M51.1 腰部およびその他の部位の椎間板障害, 神経根障害を伴うもの	M51.1 ± 腰部およびその他の部位の椎間板障害, 神経根障害を伴うもの (G55.1*)
554	M62.0 筋離断	M62.0 筋離解
554	M62.2 筋の阻血性梗塞 除外: コンパートメント<筋区画>症候群 (T79.6)	M62.2 筋の阻血性梗塞 コンパートメント<筋区画>症候群, 非外傷性 除外: コンパートメント<筋区画>症候群, 外傷性 (T79.6)
557	M70 使用, 過使用および圧迫に関連する軟部組織障害	M70 使用, 使い過ぎおよび圧迫に関連する軟部組織障害
558	M70.8 使用, 過使用および圧迫に関連するその他の軟部組織障害	M70.8 使用, 使い過ぎおよび圧迫に関連するその他の軟部組織障害
558	M70.9 使用, 過使用および圧迫に関連する詳細不明の軟部組織障害	M70.9 使用, 使い過ぎおよび圧迫に関連する詳細不明の軟部組織障害
559	M72.3 小結節性筋膜炎	削除

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
559	M72.4 偽肉腫性線維腫症	M72.4 偽肉腫性線維腫症 <u>結節性筋膜炎</u>
559	M72.5 筋<腱>膜炎，他に分類されないもの 除外：びまん性（好酸球増加性）筋膜炎（M35.4） 足底腱膜炎（M72.2） 小結節性筋膜炎（M72.3）	削除 削除 削除 削除
559		M72.6 <u>え<壊>死性筋膜炎</u> <u>感染病原体の分類が必要な場合は追加コードを使用する。</u>
559	M72.8 その他の線維芽細胞性障害	M72.8 その他の線維芽細胞性障害 <u>筋膜膿瘍</u> <u>除外：筋<腱>膜炎：</u> <u>・びまん性（好酸球性）（M35.4）</u> <u>・足底（M72.2）</u> <u>・結節性（M72.4）</u> <u>・え<壊>死性（M72.6）</u> <u>・腎周囲性：</u> <u>・NOS（N13.5）</u>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
		・感染を伴うもの (N13.6)
559	M72.9 線維芽細胞性障害，詳細不明	M72.9 線維芽細胞性障害，詳細不明 筋<腱>膜炎 NOS 線維腫症 NOS
559	M75 肩の傷害	M75 肩の傷害<損傷>
560	M75.8 その他の肩の傷害	M75.8 その他の肩の傷害<損傷>
560	M75.9 肩の傷害，詳細不明	M75.9 肩の傷害<損傷>，詳細不明
572	M99 生体力学的傷害，他に分類されないもの	M99 生体力学的傷害<損傷>，他に分類されないもの
572	M99.8 その他の生体力学的傷害	M99.8 その他の生体力学的傷害<損傷>
572	M99.9 生体力学的傷害，詳細不明	M99.9 生体力学的傷害<損傷>，詳細不明
573	第XIV章 尿路性器系の疾患	第XIV章 腎尿路生殖器系の疾患
573	<p>本章は，次の中間分類項目を含む：</p> <p>N40-N51 男性性器の疾患</p> <p>N80-N98 女性性器の非炎症障害</p> <p>N99 尿路性器系のその他の障害</p> <p>本章の星印(*)項目は下記のとおりである：</p>	<p>本章は，次の中間分類項目を含む：</p> <p>N40-N51 男性生殖器の疾患</p> <p>N80-N98 女性生殖器の非炎症障害</p> <p>N99 腎尿路生殖器系のその他の障害</p> <p>本章の星印(*)項目は下記のとおりである：</p>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	N51* 他に分類される疾患における男性性器の障害	N51* 他に分類される疾患における男性生殖器の障害
591	N39.3 緊張性<腹圧性>尿失禁	N39.3 緊張性<腹圧性>尿失禁 過活動膀胱または、排尿筋過活動を分類する必要がある場合は、追加コード（N32.8）を使用する。
591	N39.4 その他の明示された尿失禁	N39.4 その他の明示された尿失禁 過活動膀胱または、排尿筋過活動を分類する必要がある場合は、追加コード（N32.8）を使用する。
591	男性性器の疾患（N40-N51）	男性生殖器の疾患（N40-N51）
593	N46 男性不妊症	N46 男性不妊（症）
593	N48.0 陰茎の白斑症<ロイコプラキ> 陰茎の萎縮症	N48.0 陰茎の白斑症<ロイコプラキ> 乾燥性閉鎖性亀頭炎 陰茎の萎縮症
594	N48.6 乾燥性閉鎖性亀頭炎	N48.6 形成性陰茎硬化症 ペイロニー<Peyronie>病
594	N49 男性性器の炎症性障害，他に分類されないもの	N49 男性生殖器の炎症性障害，他に分類されないもの
594	N49.8 その他の明示された男性性器の炎症性障害 男性性器の多部位の炎症	N49.8 その他の明示された男性生殖器の炎症性障害 男性生殖器の多部位の炎症
594	N49.9 部位不明の男性性器の炎症性障害 } 部位不明の男性性器	N49.9 部位不明の男性生殖器の炎症性障害 } 部位不明の男性生殖器

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
594	N50 男性性器のその他の障害	N50 男性生殖器のその他の障害
595	N50.1 男性性器の血管障害 } 男性性器	N50.1 男性生殖器の血管障害 } 男性生殖器
595	N50.8 男性性器のその他の明示された障害	N50.8 男性生殖器のその他の明示された障害
595	N50.9 男性性器の障害，詳細不明	N50.9 男性生殖器の障害，詳細不明
595	N51* 他に分類される疾患における男性性器の障害	N51* 他に分類される疾患における男性生殖器の障害
596	N51.8* 他に分類される疾患における男性性器のその他の障害 男性性器のヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 (A60.0†)	N51.8* 他に分類される疾患における男性生殖器のその他の障害 男性生殖器のヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 (A60.0†)
599	N73.0 急性子宮傍(結合)組織炎および骨盤蜂巣炎 骨盤蜂巣炎，女性	N73.0 急性子宮傍(結合)組織炎および骨盤蜂巣炎<蜂窩織炎> 骨盤蜂巣炎<蜂窩織炎>，女性
599	N73.1 慢性子宮傍(結合)組織炎および骨盤蜂巣炎	N73.1 慢性子宮傍(結合)組織炎および骨盤蜂巣炎<蜂窩織炎>
599	N73.2 詳細不明の子宮傍(結合)組織炎および骨盤蜂巣炎	N73.2 詳細不明の子宮傍(結合)組織炎および骨盤蜂巣炎<蜂窩織炎>
601	女性性器の非炎症性障害 (N80-N98)	女性生殖器の非炎症性障害 (N80-N98)
609	N92 過多月経，頻発月経および不規則月経	N92 過多月経，頻発月経および月経不順
609	N92.5 その他の明示された不規則月経	N92.5 その他の明示された月経不順
609	N92.6 不規則月経，詳細不明 除外：下記を伴う不規則月経：	N92.6 月経不順，詳細不明 除外：下記を伴う月経不順：

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
610	N94 女性性器および月経周期に関連する疼痛およびその他の病態	N94 女性生殖器および月経周期に関連する疼痛およびその他の病態
610	N94.8 女性性器および月経周期に関連するその他の明示された病態	N94.8 女性生殖器および月経周期に関連するその他の明示された病態
610	N94.9 女性性器および月経周期に関連する詳細不明の病態	N94.9 女性生殖器および月経周期に関連する詳細不明の病態
612	尿路性器系のその他の障害 (N99)	腎尿路生殖器系のその他の障害 (N99)
612	N99 尿路性器系の処置後障害, 他に分類されないもの	N99 腎尿路生殖器系の処置後障害, 他に分類されないもの
612	N99.8 尿路性器系のその他の処置後障害	N99.8 腎尿路生殖器系のその他の処置後障害
612	N99.9 尿路性器系の処置後障害, 詳細不明	N99.9 腎尿路生殖器系の処置後障害, 詳細不明
第XV章 妊娠, 分娩および産じょく<褥>		
613	本章は, 次の中間分類項目を含む: 095-099 その他の産科的病態, 他に分類されないもの	本章は, 次の中間分類項目を含む: 094-099 その他の産科的病態, 他に分類されないもの
615	下記の4桁細分類項目は, 項目003-006に使用する: .0 不全流産, 性器および骨盤内感染症を合併するもの .5 完全流産または詳細不明の流産, 性器および骨盤内感染症を合併するもの	下記の4桁細分類項目は, 項目003-006に使用する: .0 不全流産, 生殖器および骨盤内感染症を合併するもの .5 完全流産または詳細不明の流産, 生殖器および骨盤内感染症を合併するもの
616	007 人工流産の不成功	007 不成功に終わった人工流産
616	007.0 医学的人工流産の不成功, 性器および骨盤内感染症を合併するもの	007.0 不成功に終わった医学的人工流産, 性器および骨盤内感染症を合併するもの
616	007.1 医学的人工流産の不成功, 遅延出血または多量出血を合併するもの	007.1 不成功に終わった医学的人工流産, 遅延出血または多量出血を合併するもの

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
616	007.2 医学的人工流産の不成功，塞栓症を合併するもの	007.2 不成功に終わった医学的人工流産，塞栓症を合併するもの
616	007.3 医学的人工流産の不成功，その他および詳細不明の合併症を伴うもの	007.3 不成功に終わった医学的人工流産，その他および詳細不明の合併症を伴うもの
617	007.4 医学的人工流産の不成功，合併症を伴わないもの 医学的人工流産の不成功 NOS	007.4 不成功に終わった医学的人工流産，合併症を伴わないもの 不成功に終わった医学的人工流産 NOS
617	007.5 その他および詳細不明の人工流産の不成功，性器および骨盤内感染症を合併するもの	007.5 その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産，性器および骨盤内感染症を合併するもの
617	007.6 その他および詳細不明の人工流産の不成功，遅延出血または多量出血を合併するもの	007.6 その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産，遅延出血または多量出血を合併するもの
617	007.7 その他および詳細不明の人工流産の不成功，塞栓症を合併するもの	007.7 その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産，塞栓症を合併するもの
617	007.8 その他および詳細不明の人工流産の不成功，その他および詳細不明の合併症を伴うもの	007.8 その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産，その他および詳細不明の合併症を伴うもの
617	007.9 その他および詳細不明の人工流産の不成功，合併症を伴わないもの 人工流産の不成功 NOS	007.9 その他および詳細不明の不成功に終わった人工流産，合併症を伴わないもの 不成功に終わった人工流産 NOS
617	008.0 流産，子宮外妊娠および胎状奇胎妊娠に続発する性器および骨盤内感染症	008.0 流産，子宮外妊娠および胎状奇胎妊娠に続発する生殖器および骨盤内感染症
620	016 詳細不明の母体の高血圧（症） 妊娠中の一過性高血圧（症）	016 詳細不明の母体の高血圧（症） 削除
622	023 妊娠中の尿路性器感染症	023 妊娠中の腎尿路性器感染症
623	023.9 妊娠中のその他および詳細不明の尿路性器感染症 妊娠中の尿路性器感染症 NOS	023.9 妊娠中のその他および詳細不明の腎尿路性器感染症 妊娠中の腎尿路性器感染症 NOS
644	086 その他の産じょく＜褥＞性感染症	086 その他の産じょく＜褥＞性感染症

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	除外：分娩における感染症(075.3)	<p>感染病原体の分類が必要な場合は、追加コード（B95-B97）を使用する。</p> 除外：分娩における感染症(075.3)
644	086.2 分娩に続発する尿路感染症	086.2 分娩に続発する腎尿路感染症
644	086.3 分娩に続発するその他の尿路性器感染症 産じょく<褥>性尿路性器感染症 NOS	086.3 分娩に続発するその他の腎尿路性器感染症 産じょく<褥>性腎尿路性器感染症 NOS
648	その他の産科的病態，他に分類されないもの(095-099) 注：項目095-097の使用には，死亡コーディングルールおよびガイドラインを参照する	その他の産科的病態，他に分類されないもの(094-099) 注：項目094-097の使用には，死亡コーディングルールおよびガイドラインを参照する。
648		094 妊娠，分娩および産じょく<褥>の合併症の続発・後遺症 注：本項は，疾病分類<コーディング>のみに使用するものである。すなわち，本項はその病態自身は他に分類されるものであるが，この続発・後遺症の原因が000-075および085-092の病態であることを示すために使用する（ものである）。続発・後遺症とは続発性 または後遺症と記載され病態または原因病態が発生後1年以上存在している病態を含む。 除外：死亡した場合(096,097)
第XVI章 周産期に発生した病態		
665	P28.8 新生児のその他の明示された呼吸器病態 新生児におけるスナッフ<鼻性呼吸>	P28.8 新生児のその他の明示された呼吸器病態 新生児におけるスナッフ<鼻性呼吸> 先天性（喉頭）喘鳴 NOS

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
666	P29.3 胎児循環持続<遺残>	P29.3 胎児循環持続<遺残> <u>新生児の(持続性)肺高血圧(症)</u>
674	P76 新生児のその他の腸閉塞 除外: K56.1に分類される腸閉塞	P76 新生児のその他の腸閉塞 削除
674	P76.8 新生児のその他の明示された腸閉塞	P76.8 新生児のその他の明示された腸閉塞 <u>除外: K56.0-K56.5に分類される腸閉塞</u>
676	P91 新生児の脳のその他の異常	P91 新生児の脳のその他の機能障害
676	P91.2 新生児の脳白質軟化	P91.2 新生児の脳白質軟化症
676	P91.3 新生児の脳易刺激性	P91.3 新生児の脳における易刺激性
676	P91.4 新生児の脳抑制	P91.4 新生児の脳機能抑制
676		P91.6 新生児の低酸素性虚血性脳症
676	P91.8 新生児の脳のその他の明示された異常	P91.8 新生児の脳のその他の明示された機能障害
676	P91.9 新生児の脳の異常, 詳細不明	P91.9 新生児の脳の機能障害, 詳細不明
第XVII章 先天奇形, 変形および染色体異常		
681	Q04.4 <u>視(神経)中隔形成異常</u>	Q04.4 <u>中隔視神経形成異常(症)</u>
682	Q06.2 <u>分裂脊髄(症)<脊髄(正中)離開></u>	Q06.2 <u>割髄症<分裂脊髄(症)><脊髄(正中)離開></u>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
686	Q15.0 先天（性）緑内障 新生児緑内障 牛眼 水眼症 球状角膜，先天性 先天（性）緑内障における巨大眼球（症） 巨大角膜	Q15.0 先天（性）緑内障 新生児緑内障 牛眼 水眼症 球状角膜，先天性， <u>緑内障を伴うもの</u> 先天（性）緑内障における巨大眼球（症） <u>緑内障を伴う巨大角膜</u> <u>緑内障を伴う大角膜</u>
687	Q17 耳のその他の先天奇形 除外： 先天性耳瘻孔(Q18.1)	Q17 耳のその他の先天奇形 除外： 先天性耳ろうく瘻孔と先天性のうく囊胞（Q18.1）
688	Q18.1 先天性耳瘻孔	Q18.1 先天性耳ろうく瘻孔と先天性のうく囊胞
691	Q24.1 左胸心<左心症>	Q24.1 左胸心<左心症> <u>注：心尖が左側に向き心臓が左半胸郭に位置し，他の内臓逆位および心欠陥または修正大血管転位を伴うもの</u>
696	Q31 喉頭の先天奇形	Q31 喉頭の先天奇形 <u>除外：先天性（喉頭）喘鳴 NOS（P28.8）</u>
696	Q31.4 先天性喉頭喘鳴 先天性喘鳴（喉頭）NOS	削除 削除

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
696		Q31.5 先天性喉頭軟化症
698	唇裂および口蓋裂 (Q35-Q37)	唇裂および口蓋裂 (Q35-Q37) 鼻の合併した奇形を分類する必要がある場合は、追加コード(Q30.2)を使用する。
698	Q35.0 硬口蓋裂, 両側性	削除
698	Q35.1 硬口蓋裂, 一側性 硬口蓋裂—NOS	Q35.1 硬口蓋裂 削除
698	Q35.2 軟口蓋裂, 両側性	削除
698	Q35.3 軟口蓋裂, 一側性 軟口蓋裂—NOS	Q35.3 軟口蓋裂 削除
698	Q35.4 軟口蓋裂を伴う硬口蓋裂, 両側性	削除
698	Q35.5 軟口蓋裂を伴う硬口蓋裂, 一側性 軟口蓋裂を伴う硬口蓋裂—NOS	Q35.5 軟口蓋裂を伴う硬口蓋裂 削除
698	Q35.6 口蓋裂, 内側	削除
699	Q35.8 口蓋裂, 硬口蓋か軟口蓋か不明, 両側性	削除
699	Q35.9 口蓋裂, 硬口蓋か軟口蓋か不明, 一側性	Q35.9 詳細不明の口蓋裂
699	Q36.1 唇裂, 内側	Q36.1 唇裂, 正中部
699	Q37.0 唇裂を伴う硬口蓋裂, 両側性	Q37.0 硬口蓋裂, 両側性唇裂を伴うもの

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
699	Q37.1 <u>唇裂を伴う硬口蓋裂，一側性</u>	Q37.1 <u>硬口蓋裂，片側性唇裂を伴うもの</u>
699	Q37.2 <u>唇裂を伴う軟口蓋裂，両側性</u>	Q37.2 <u>軟口蓋裂，両側性唇裂を伴うもの</u>
699	Q37.3 <u>唇裂を伴う軟口蓋裂，一側性</u>	Q37.3 <u>軟口蓋裂，片側性唇裂を伴うもの</u>
699	Q37.4 <u>唇裂を伴う硬および軟口蓋裂，両側性</u>	Q37.4 <u>硬および軟口蓋裂，両側性唇裂を伴うもの</u>
699	Q37.5 <u>唇裂を伴う硬および軟口蓋裂，一側性</u>	Q37.5 <u>硬および軟口蓋裂，片側性唇裂を伴うもの</u>
699	Q37.8 <u>唇裂を伴う口蓋裂，硬口蓋か軟口蓋か不明，両側性</u>	Q37.8 <u>詳細不明の口蓋裂，両側性唇裂を伴うもの</u>
699	Q37.9 <u>唇裂を伴う口蓋裂，硬口蓋か軟口蓋か不明，一側性</u>	Q37.9 <u>詳細不明の口蓋裂，片側性唇裂を伴うもの</u>
706	<u>性器の先天奇形（Q50-Q56）</u>	<u>生殖器の先天奇形（Q50-Q56）</u>
709	Q55 <u>男性性器のその他の先天奇形</u>	Q55 <u>男性生殖器のその他の先天奇形</u>
709	Q55.8 <u>男性性器のその他の明示された先天奇形</u>	Q55.8 <u>男性生殖器のその他の明示された先天奇形</u>
709	Q55.9 <u>男性性器の先天奇形，詳細不明</u>	Q55.9 <u>男性生殖器の先天奇形，詳細不明</u>
	} <u>男性性器 NOS</u>	} <u>男性生殖器 NOS</u>
710	<u>尿路系の先天奇形（Q60-Q64）</u>	<u>腎尿路系の先天奇形（Q60-Q64）</u>
711	Q61.1 <u>（多）のう<囊>胞腎，（乳）幼児型</u>	Q61.1 <u>多発性のう<囊>胞腎，常染色体劣性</u>
		<u>多発性のう<囊>胞腎，（乳）幼児型</u>
711	Q61.2 <u>（多）のう<囊>胞腎，成人型</u>	Q61.2 <u>多発性のう<囊>胞腎，常染色体優性</u>
		<u>多発性のう<囊>胞腎，成人型</u>

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
711	Q61.3 (多)のう〈囊〉胞腎, 病型不明	Q61.3 多発性のう〈囊〉胞腎, 病型不明
721	Q75.1 頭蓋顔面異骨症	Q75.1 頭蓋顔面異骨症<頭蓋顔面骨形成不全症>
721	Q75.3 巨頭(蓋)症	Q75.3 巨頭(蓋)症<大頭(蓋)症>
721	Q75.4 下顎顔面異骨症	Q75.4 下顎顔面異骨症<下顎顔面骨形成不全症> 症候群: ・フランチェスケッティ<Franceschetti> ・トリーチャー コリンズ<Treacher Collins>
721	Q75.5 眼下顎異骨症	Q75.5 眼下顎異骨症<眼下顎骨形成不全症>
725	Q80.1 伴性魚りんせん<鱗癬>	Q80.1 X連鎖性魚りんせん<鱗癬>
728	Q86.0 胎児アルコール症候群(異形成)	Q86.0 胎児アルコール症候群(異形性)
728	Q86.2 ワーファリンによる異形(態)症	Q86.2 ワーファリンによる形態異常
729	Q87.0 先天奇形症候群, 主として顔貌に影響するもの 症候群: ・ トリーチャー コリンズ<Treacher Collins>	Q87.0 先天奇形症候群, 主として顔貌異常を伴うもの 症候群: 削除
730	Q87.8 その他の明示された先天奇形症候群, 他に分類されないもの 症候群: ・アルポート<Alport>	Q87.8 その他の明示された先天奇形症候群, 他に分類されないもの 症候群: ・アルポート<Alport>

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ローレンス・ムーン<Laurence-Moon></u> ・ <u>バルデ・ビードル<Bardet-Biedl></u> ・ ツェルウエーガー<Zellweger> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ローレンス・ムーン(・バルデ)・ビードル<Laurence-Moon (-Bardet)-Biedl></u> ・ ツェルウエーガー<Zellweger>
731	Q89.3 内臓逆位 除外：右胸心<右心症> NOS (Q24.0)	Q89.3 内臓逆位 除外：右胸心<右心症> NOS (Q24.0) <u>左胸心<左心症> (Q24.1)</u>
733	Q93.5 その他の染色体部分欠失	Q93.5 その他の染色体部分欠失 <u>アンジェルマン<Angelman>症候群</u>
733	Q95.4 マーカーヘテロクロマチン染色質を伴う個体	Q95.4 マーカーヘテロクロマチンを伴う個体
733	Q96.4 モザイク, 45, X/性染色体異常を伴うその他の細胞系列	Q96.4 モザイク, 45, X/性染色体異常を伴うその他の細胞系
734	Q97.2 モザイク, 種々のX染色体を持つ細胞系列	Q97.2 モザイク, 種々のX染色体数を持つ細胞系
734	Q99.2 ぜい<脆>弱X染色体症候群	Q99.2 ぜい<脆>弱X染色体
第XVIII章 症状, 徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの		
738	R00.0 頻脈, 詳細不明 頻拍	R00.0 頻脈, 詳細不明 頻拍 <u>頻脈<拍>:</u>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
		<ul style="list-style-type: none"> ・洞[洞性] NOS ・洞心耳性 NOS
738	R00.1 徐脈，詳細不明 徐拍	R00.1 徐脈，詳細不明 徐拍 徐脈： <ul style="list-style-type: none"> ・洞房性 NOS ・洞 ・迷走神経性
739	R04.1 咽喉出血	R04.1 咽喉部<のど>出血
740	R06.1 喘鳴<stridor> 除外：先天性喉頭喘鳴（Q31.4）	R06.1 喘鳴<stridor> 除外：先天性（喉頭）喘鳴（P28.8）
749	尿路系に関する症状および徴候（R30－R39）	腎尿路系に関する症状および徴候（R30－R39）
752	R45.8 情緒状態に関するその他の症状および徴候	R45.8 情緒状態に関するその他の症状および徴候 自殺観念<念慮>（傾向） 除外：精神障害の部分的構成要素となる自殺観念<念慮>（F00-F99）
753	会話および音声に関する症状および徴候（R47－R49）	言語および音声に関する症状および徴候（R47－R49）
753	R47 会話の障害，他に分類されないもの	R47 言語の障害，他に分類されないもの

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
753	R47.8 その他および詳細不明の会話の障害	R47.8 その他および詳細不明の言語の障害
768	R86 男性性器からの検体<材料>の異常所見	R86 男性生殖器からの検体<材料>の異常所見
769	R87 女性性器からの検体<材料>の異常所見	R87 女性生殖器からの検体<材料>の異常所見
第XIX章 損傷，中毒およびその他の外因の影響		
776	<p>脱臼，捻挫およびストレイン，下記を含む：</p> <p>裂傷<laceration> } 関節（包）および靭帯</p>	<p>脱臼，捻挫およびストレイン，下記を含む：</p> <p>裂傷<laceration> } 軟骨および関節（包）</p>
777	<p>筋および腱の損傷，下記を含む：</p> <p>筋（肉）および腱</p>	<p>筋，筋膜および腱の損傷，下記を含む：</p> <p>筋（肉），筋膜および腱</p>
780	S02.5 歯の骨折	S02.5 歯の破折
783	S05.9 眼球および眼窩の損傷，部位不明	S05.9 眼球および眼窩の損傷，詳細不明
798	S37 骨盤臓器の損傷	S37 腎尿路生殖器および骨盤臓器の損傷
801	<p>S43.4 肩関節の捻挫およびストレイン</p> <p>肩（回旋筋）腱板（包）</p>	<p>S43.4 肩関節の捻挫およびストレイン</p> <p>肩（回旋筋）腱板包</p>
813	S76.1 大腿四頭筋および腱の損傷	<p>S76.1 大腿四頭筋および腱の損傷</p> <p>膝蓋靭帯<腱></p>

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
817	S83.6 膝のその他および部位不明の捻挫およびストレイン 膝蓋靭帯	S83.6 膝のその他および部位不明の捻挫およびストレイン 削除 除外： 膝蓋靭帯<腱>の捻挫 (S76.1)
817	S86 下腿の筋および腱の損傷 除外： 足首または足の筋および腱の損傷 (S96.-)	S86 下腿の筋および腱の損傷 除外： 下記の損傷： 膝蓋靭帯<腱> (S76.1) 足首または足の筋および腱 (S96.-)
841	T28.3 内部尿路性器の熱傷	T28.3 内部腎尿路生殖器の熱傷
841	T28.8 内部尿路性器の腐食	T28.8 内部腎尿路生殖器の腐食
846	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50) 除外： 精神作用物質の使用による薬物依存および関連する精神および行動の障害 (F10-F19)	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒(T36-T50) 削除 酩酊<inebration>を意味する中毒<intoxication> (F10-F19)
848	T40 麻薬および精神変容薬[幻覚発現薬]による中毒 除外： 精神作用物質の使用による薬物依存および関連する精神および行動の障害 (F10-F19)	T40 麻薬および精神変容薬[幻覚発現薬]による中毒 削除 除外： 酩酊<inebration>を意味する中毒<intoxication> (F10 - F19)
849	T42 抗てんかん薬、鎮静、催眠薬および抗パーキンソン病薬による中毒 除外： 精神作用物質の使用による薬物依存および関連する精神および行動の障害 (F10-F19)	T42 抗てんかん薬、鎮静、催眠薬および抗パーキンソン病薬による中毒 削除

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
850	<p>T43 向精神薬による中毒，他に分類されないもの</p> <p>除外：精神作用物質の使用による薬物依存および関連する精神および行動の障害(F10-F19)</p>	<p>除外：<u>酩酊<inebration>を意味する中毒<intoxication>(F10 - F19)</u></p> <p>T43 向精神薬による中毒，他に分類されないもの</p> <p>削除</p> <p>除外：<u>酩酊<inebration>を意味する中毒<intoxication>(F10 - F19)</u></p>
851	<p>T44.5 ベータアドレナリン受容体作動性を主とする薬，他に分類されないもの</p> <p>除外：サルブタモール (T48.6)</p>	<p>T44.5 ベータアドレナリン受容体作動性を主とする薬，他に分類されないもの</p> <p>除外：<u>喘息治療に使用されるベータアドレナリン受容体作動薬 (T48.6)</u></p>
854	<p>T48.6 抗喘息薬，他に分類されないもの</p> <p>サルブタモール</p> <p>除外：ベータアドレナリン受容体作動薬 (T44.5)</p>	<p>T48.6 抗喘息薬，他に分類されないもの</p> <p><u>喘息治療に使用されるベータアドレナリン受容体作動薬</u></p> <p>サルブタモール</p> <p>除外：<u>喘息治療に使用されないベータアドレナリン受容体作動薬 (T44.5)</u></p>
855	<p>T51.0 エタノール</p> <p>除外：急性アルコール中毒または”二日酔い”の作用(F10.0)</p>	<p>T51.0 エタノール</p> <p>除外：急性アルコール中毒<intoxication>または”二日酔い”の作用 (F10.0)</p>
863	<p>T70.0 <u>耳の気圧性外傷</u></p>	<p>T70.0 <u>耳気圧外傷</u></p>
869	<p>T79.6 筋の外傷性阻血</p> <p>コンパートメント<筋区画>症候群</p>	<p>T79.6 筋の外傷性阻血</p> <p>コンパートメント<筋区画>症候群，<u>外傷性</u></p>

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
第 X X 章 傷病および死亡の外因		
889	<p>発生場所コード</p> <p>下記の4桁細分類項目は、外因の発生した場所を表示するために、<u>Y06.-およびY07.-を除く項目W00-Y34に使用する</u>：</p> <p>. 1 居住施設</p> <p>病者の施設</p> <p>孤児院</p> <p>※母子寮</p> <p>教護院</p>	<p>発生場所コード</p> <p>下記の分類項は、外因の発生した場所を表示するために、<u>ICD項目W00-Y34に加えて、別個の分類として使用するために設置されたものである</u>：</p> <p><u>*注：2003年ケルン会議において、発生場所コードは3桁のXX章コードと分けるべきであると決議された。</u></p> <p>. 1 居住施設</p> <p>病者の施設 (Home for the sick)</p> <p>乳児院／<u>児童養護施設 (Orphanage)</u></p> <p>※<u>母子生活支援施設</u></p> <p><u>児童自立支援施設</u></p>
892	<p>活動コード</p> <p>下記の細分類項目は事件が起きたときの受傷者の活動を示すためにV01-Y34の項目を補足する意味で任意に使用するためのものである。この細分類項目は、<u>W00-Y34に分類される事件の発生場所を示す勧告された4桁細分類項目と混同したり、または代わりに使用したりしてはならない。</u></p>	<p>活動コード</p> <p>下記の分類項は、<u>事件発生時の受傷者の活動を示すためにV01-Y34の項目に加えて、別個の分類として使用するために設置されたものである。この補足分類は、W00-Y34に分類される事件の発生場所を示す勧告された分類項目と混同したり、または代わりに使用してはならない。</u></p> <p><u>*注：2003年ケルン会議において、活動コードは3桁のXX章コードと分けるべきであると決議された。</u></p>
894	<p>交通事故 (V01-V99)</p> <p>注：本節は12の群からなる。陸上交通事故に関連したもの (V01-V89)は、受傷者の移動手段を示し、それは受傷者の“相手方”あるいは事件の型によって細分類されている。受傷者の乗っていた交通機関は最初の2桁で示されている。これは交通機関を同定することが事故防止の点からみてもっとも重要な因子と思われるからである。</p>	<p>交通事故 (V01-V99)</p> <p>注：本節は12の群からなる。陸上交通事故に関連したもの (V01-V89)は、受傷者の移動手段を示し、それは受傷者の“相手方”あるいは事件の型によって細分類されている。受傷者の乗っていた交通機関は最初の2桁で示されている。これは交通機関を同定することが事故防止の点からみてもっとも重要な因子と思われるからである。</p>

提要 該当 ページ	旧 (I C D - 1 0 準拠)	新 (I C D - 1 0 2 0 0 3 年 版 準拠)
896～ 898	<p>除外：天災による交通事故 (X34-X38)</p> <p>故意の自傷 (X82-X83)</p> <p>モーター車両の衝突による加害にもとづく傷害および死亡 (Y03. -)</p> <p>不慮か故意かの決定されない事件 (Y32-Y33)</p> <p>(n) 乗用車とは、本来10人以内の人を輸送するために設計された四輪のモーター車両をいう。 包含：ミニバス</p> <p>(o) 軽トラックまたはバンとは、本来、物を輸送する目的で設計された四輪または六輪のモーター車両で、その地域の大型貨物車の基準より軽く、特別な運転免許を要しないものをいう。</p> <p>次の注記は番号を付け直される。(o)～(y)</p>	<p>除外：<u>動いておらず、公道上にない輸送機器もしくは車両の整備または修理に従事する者の事故 (W00-X59)</u></p> <p>天災による交通事故 (X34-X38)</p> <p>故意の自傷 (X82-X83)</p> <p>モーター車両の衝突による加害にもとづく傷害および死亡 (Y03. -)</p> <p>不慮か故意かの決定されない事件 (Y32-Y33)</p> <p>(n) 乗用車とは、本来10人以内の人を輸送するために設計された四輪のモーター車両をいう。 包含：ミニバス</p> <p><u>(o) モーター車両または車両には多様な輸送車両が該当する。車両用語の各地域における使用については、適切なコードを決定し、制定すべきである。用語が曖昧に使用された場合は、「詳細不明」のコードを使用する。</u></p> <p>(p) 軽トラックまたはバンとは、本来、物を輸送する目的で設計された四輪または六輪のモーター車両で、その地域の大型貨物車の基準より軽く、特別な運転免許を要しないものをいう。</p> <p>次の注記は番号を付け直される。(p)～(z)</p>
940	<p>電流、放射線ならびに極端な気温および気圧への曝露 (W85-W99)</p>	<p>電流、放射線ならびに極端な気温および気圧への曝露 (W85-W99)</p> <p>除外：<u>外科的および内科的処置における患者に対する医療事故 (Y63.2-Y63.5)</u></p> <p><u>治療の合併症に対する異常反応で医療事故の記載がないもの (Y84.2)</u></p>
947	<p>X25 その他の明示された有害節足動物との接触</p>	<p>X25 その他の有毒節足動物との接触</p>
950	<p>有害物質による不慮の中毒および有害物質への曝露 (X40-X49)</p>	<p>有害物質による不慮の中毒および有害物質への曝露 (X40-X49)</p>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
	<p>[4桁細分類項目は889～892ページを参照]</p> <p>包含：事故によるか，故意によるか明示されない中毒</p>	<p>[4桁細分類項目は889～892ページを参照]</p> <p>包含：事故によるか，故意によるか明示されない（<u>自為的</u>）中毒。 <u>出来れば，法的規則に従うこと（962頁の注記参照）。</u></p>
962	<p>不慮か故意か決定されない事件（Y10-Y34）</p> <p>[4桁細分類項目は889～892ページを参照]</p> <p>注：本項目は，有効な情報が少ないので，医学または司法当局の調査によって不慮の事故か自為的なものか，他人の加害によるものかが決定されなかった事件について使用するものである。本項目には，不慮の事故か意図されたものかが明示されていない場合，自傷は含まれるが，自為的な中毒は含まれない。</p>	<p>不慮か故意か決定されない事件（Y10-Y34）</p> <p>[4桁細分類項目は889～892ページを参照]</p> <p>注：本項は，有効な情報が少ない場合，医学または司法当局の調査によって不慮の事故か自為的なものか，他人の加害によるものかが決定されなかった事件について使用するものである。本項には，自傷は含まれるが，不慮の事故か意図されたものかが明示されていない場合，自為的な中毒は含まれない（X40-X49）。<u>利用可能な場合，法的規則に従うこと。</u></p>
967	<p>Y35 法的介入</p>	<p>Y35 法的介入</p> <p>包含：<u>違法者の逮捕または逮捕の企て，騒動の鎮圧，秩序の維持および他の法的行為の維持の過程において，勤務中の軍隊，警察または他の法施行機関により受けた損傷。</u></p>
977	<p>Y52.1 カルシウムチャンネル拮抗薬</p>	<p>Y52.1 カルシウムチャンネル遮断薬</p>
977	<p>Y52.3 冠血管拡張薬，他に分類されないもの</p> <p>除外：カルシウムチャンネル拮抗薬</p>	<p>Y52.3 冠血管拡張薬，他に分類されないもの</p> <p>除外：カルシウムチャンネル遮断薬</p>
<p>第XXI章 健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用</p>		
1009	<p>Z52.0 血液提供者<ドナー></p>	<p>Z52.0 血液提供者<ドナー></p> <p>包含：<u>リンパ球，血小板および幹細胞などの血液成分</u></p>
1010		<p>Z52.6 肝臓提供者<ドナー></p>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
1010		Z52.7 <u>心臓提供者<ドナー></u>
1023	Z80.4 <u>性器の悪性新生物の家族歴</u>	Z80.4 <u>生殖器の悪性新生物の家族歴</u>
1023	Z80.5 <u>尿路の悪性新生物の家族歴</u>	Z80.5 <u>腎尿路の悪性新生物の家族歴</u>
1024	Z82.3 <u>脳血管発作の家族歴</u>	Z82.3 <u>脳卒中の家族歴</u>
1025	Z84.2 <u>尿路性器系のその他の疾患の家族歴</u>	Z84.2 <u>腎尿路生殖器系のその他の疾患の家族歴</u>
1026	Z85.4 <u>性器の悪性新生物の既往歴</u>	Z85.4 <u>生殖器の悪性新生物の既往歴</u>
1026	Z85.5 <u>尿路の悪性新生物の既往歴</u>	Z85.5 <u>腎尿路の悪性新生物の既往歴</u>
1028	Z87.4 <u>尿路性器系の疾患の既往歴</u>	Z87.4 <u>腎尿路生殖器系の疾患の既往歴</u>
1028	Z87.8 <u>その他の明示された病態の既往歴</u> S00—T98に分類される病態	Z87.8 <u>その他の明示された病態の既往歴</u> S00—T98に分類される病態 <u>除外：自傷の既往歴（Z91.5）</u>
1030	Z90.7 <u>性器の後天性欠損</u>	Z90.7 <u>生殖器の後天性欠損</u>
1030	Z96.0 <u>尿路性器の挿入物の存在</u>	Z96.0 <u>泌尿生殖器の挿入物の存在</u>
<u>第XXII章 特殊目的用コード</u>		
		本章には、次のブロックを含む： <u>原因不明の新たな疾患の暫定分類（U00-U49）</u>

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
		<p>U04 重症急性呼吸器症候群[SARS]</p> <p>U04.9 重症急性呼吸器症候群[SARS]，詳細不明</p> <p>抗生物質に耐性の細菌性病原体(U80-U89)</p> <p><u>注：一次コーディングには決して用いるべきではない。本分類は、他に分類されている細菌感染において、細菌性病原体が耐性を示す抗生物質を特定する必要がある場合に、補助コードまたは追加のコードとして使用するためのものである。</u></p>
		U80 ペニシリンおよび関連抗生物質耐性病原体
		U80.0 ペニシリン耐性病原体
		U80.1 メチシリン耐性病原体
		U80.8 その他のペニシリン系抗生物質耐性病原体
		U81 バンコマイシンおよび関連抗生物質耐性病原体
		U81.0 バンコマイシン耐性病原体
		U81.8 その他のバンコマイシン関連抗生物質耐性病原体
		<p>U88 抗生物質多剤耐性病原体</p> <p><u>注：本項は、細菌性病原体が2つ以上の抗生物質に対して耐性があるが、どの抗生物質が「主要病態」に最も寄与しているのかを決定するには詳細不明である場合に使用するためのものである。また本項は、一次製表分類のために単一のコードを用いるのがより便利な場合に使用する。他方、多数の明示された抗生物質耐性病原体を示す場合は各々をそれぞれ別々にコードする。</u></p>
		U89 その他の抗生物質および詳細不明の抗生物質耐性病原体

提要 該当 ページ	旧（ICD-10 準拠）	新（ICD-10 2003年版 準拠）
		U89.8 その他の明示された単一抗生物質耐性病原体
		U89.9 詳細不明の抗生物質耐性病原体